後援会たより

2023年 No.51 秋
発行日 2023年11月1日

大阪電気通信大学後援会
http://www.dentsukouenkai.com/

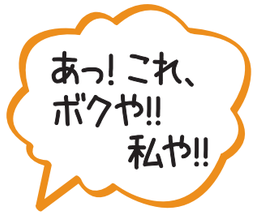
2023年度 総会報告／キャンパス探訪第23弾
新任先生のごあいさつ／インタビュー
OECU広場West完成

2023年度　後期
行 事 予 定 表

工学部・情報通信工学部・医療健康科学部
総合情報学部

大学院（工学研究科・医療福祉工学研究科
総合情報学研究科）

10月	1(日)	創立記念日
	9(月・祝) スポーツの日	授業日
	7(土)・21(土)・28(土)	補講日
11月	3(金・祝) 文化の日	授業日
	4(土)	大学祭準備
	5(日)～ 6(月)	大学祭
	6(月)・ 7(火)	振替休日（7/17・9/18 授業実施に伴う振り替え）
	7(火)	大学祭の片づけ
	11(土)・18(土)	試験日
	23(木・祝) 勤労感謝の日	授業日
12月	2(土)	なわフェス
	4(月)	12月期学位授与者発表〔院〕
	9(土)	12月期学位授与式〔院〕
	9(土)・16(土)	補講日
	26(火)	授業終了
	27(水)・28(木)	振替休日（10/9・11/3 授業実施に伴う振替）
	27(水)～2024/1/5(金)	冬期一斉休業
2024年 1月	5(金)	振替休日（11/23 授業実施に伴う振替）
	9(火)	授業再開
	15(月)	後期授業終了
	16(火)	補講日
	17(水)～20(土) 22(月)～26(金)	後期試験期間
	27(土) 29(月)～30(火)	後期追試験
2月	10(土)～11(日・祝)	なわてん
	15(木)～16(金)	成績発表
3月	5(火)～ 7(木)	卒業再試験
	11(月)	大学院入学試験
	15(金)	学位授与認定者成績発表〔院・学部〕
	16(土)	教育懇談会（本学）
	23(土)	学位授与式
	28(木)	新年次ガイダンス



この冊子に写真を載せさせていただいた学生の方は後援会事務室までご連絡ください。薄謝を差し上げます。

cover design

情報学科
２年次　村井明日花

concept

このイラストのコンセプトは、自然の美しさや自然とのつながりを感じること、日常生活の中で忘れがちなリラックスすることの大切さです。校舎の外に広がる紅葉を思い出しながら描きました。

後援会たより
No.51 Contents

■ P02　後援会会長ごあいさつ
大阪電気通信大学 後援会会長　石橋　美和

■ P03　2023年度 総会報告

■ お知らせ
P07　2022（令和4）年度　事業報告
P08　2022（令和4）年度　収支決算報告
P09　2023（令和5）年度　事業計画
P10　2023（令和5）年度　収支予算
2023年度　後援会役員名簿
P11　2023年度会員の地域別分布状況（大学・大学院）
在籍学生数

■ P12　キャンパス整備支援 寄付・受賞者のコメント

■ P14　テーブル・椅子寄贈

■ P15　2023年度　新任先生のご紹介・ごあいさつ

■ P20　施設見学・キャンパス探訪　第23弾

■ P32　三文の徳食堂

■ P33　父母の声

■ P35　2024年度 表紙デザイン募集詳細

■ P36　大学院のすすめ　総合情報学研究科長　登尾　啓史

■ 就職部たより
P39　2023年度就職活動について　就職部長　土田　修

■ P44　オリコ学費サポートプラン

■ P46　大学への問い合わせ・キャンパス案内図

■ P48　後援会規約　後援会･友電会貸与奨学金運用規程

ごあいさつ

大阪電気通信大学後援会 会長
石橋（いしばし） 美和（みわ）

憩い

会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より後援会の活動につきましてはご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

このたび2023年度大阪電気通信大学後援会総会におきまして２期目の後援会会長に選出いただきました。微力ではございますが保護者代表として学生のよりよい環境づくりに尽力していく所存でございますので皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

寝屋川キャンパスのリニューアルがやっと終わりました。ずいぶん長い期間でしたが目を見張る近代的なキャンパスに生まれ変わりました。

中でも寝屋川キャンパスのOECU広場West（中庭）は、授業の合間にのんびり日向ぼっこができるとてもいい場所になりました。

今大学にいる学生はほとんどがコロナ禍で何かしら不便な学生生活を強いられてきました。休校やオンライン授業、学校に通えるようになっても黙食、電車の中もおしゃべりしていると白い目で見られました。しかし５類に変更になったことで様々なことがほぼ以前通りに戻りました。ランチや飲み会、旅行にコンサートと以前通り友人や家族との娯楽が再開しましたが学生はどうでしょう。集う楽しさより一人のほうが気楽、またはオンラインでいいや面倒だしとなっていませんか。知識も大切ですが実際に見る、会う、感じるなどの体験は大事です。

空き時間は中庭で過ごしませんか。中庭が皆さんのくつろぎ、やすみ、そしていこいの場になればいいなと思っています。

また四條畷キャンパスも中庭のリニューアル工事が予定されています。

四條畷キャンパスの学生の皆さんも楽しみにして下さい。

後援会の現在の活動は、保護者の声を参考にして実施しています。

部活動への活動援助金、学会発表補助など一部の限られた学生への援助だけではなく、教育懇談会開催の援助、成績表送付時の費用の援助、出席集計システム利用のご案内送付時の費用の援助などの目に見えない支援の他、学内食堂にて100円で朝食を提供する「三文の徳食堂」や月に一度激安価格で昼食を摂ることができる「学生応援day」など学生の食生活にも援助を行っております。

他にも保護者の方がおそらく一番心配されておられる就職、進路についても大学が開催している「保護者の為のオンライン就活セミナー」への援助も行っております。

就職活動は私たち親世代と大きく様変わりしています。大学のオンライン就活セミナーなどを通じて保護者の方々も最新の就職事情を情報共有いただきご家庭でも学生を応援していただけたらと思います。

また大学では秋（９月）と春（３月）に教育懇談会を開催しております。
大学のこと、進路のこと不安に思われることなどございましたらぜひご参加ください。
最後になりますが後援会では大学祭・なわフェスへの協力など様々な活動をしております。
後援会も喫茶コーナーなどを出店しております。
ぜひお気軽にお越しください。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

2023年度 総会報告

2023年(令和５年) ６月10日（土）、寝屋川キャンパスＪ号館302教室にて2023年度定期総会を開催しました。会員127名と学内幹事、大学関係者の皆さんに参加いただきました。

学長挨拶

午後1時から開催された総会には来賓として塩田学長にご出席を賜り大学の現状や今後の構想など興味深い内容のごあいさつをいただきました。

次に規約に基づき石橋会長が議長となり議事に入りました。

石橋会長より2022年度事業報告、続いて伊藤会計より2022年度会計報告をいたしました。

前年度、総会アンケートの中で会計報告は数字の読み上げだけでは分かりにくいとのご意見があったことから会場のプロジェクターを用い、活動の内容がわかる行事の写真や購入した物の画像を投影し石橋会長より会計の費目ごとにより詳しい説明が行われました。

竹内会計監査より監査報告があり事業報告および会計報告は挙手多数により承認されました。

引き続き石橋会長より2023年度の事業計画案、伊藤会計より予算について提案がありました。

補足として石橋会長より予算案の備考欄について説明があり、新しい取り組み『学生応援ｄａｙ』について説明がありました。

昨年の総会で貸与奨学金の拠出金の後援会への返還が今年度に行われることは承認済みではありますが改めて貸与奨学金について大学の不破部長よりご説明いただきました。

予算案では返還分の貸与奨学金について寝屋川、畷キャンパスの整備支援費とのみ記載、計上しているがより詳しく説明するため後援会常任幹事の寺西局長より整備の内容についてお話いただきました。

寝屋川キャンパスの中庭は現在工事を既に行っており、中庭の活用方法については当大学の学生より案を募りコンペで採用された案であることや実際のコンペで使

用されたビデオを会場のプロジェクターに投影していただき出来上がりをよりイメージ出来る内容のご説明がありました。

改めて石橋会長より返還された貸与奨学金の活用について返還された金額を全額大学に寄付、内容について当大学はキャンパスが２か所あるため学生数で按分した金額でキャンパス中庭工事限定の寄付にすること、四條畷キャンパスについては2023年度中の工事を依頼する提案がありました。

但し四條畷キャンパスについては整備案を作成中の為、本日内容をお示しすることが出来ないが寄付金は中庭工事に限定することで一任、承認いただきたいと説明がありました。

又、昨年に比べて大きく予算が増えている費目についてコロナ前の予算に戻していること、より分かりやすい会計にするために今年度から支出の内容に沿った費目に計上しており変更点についても説明がありました。たくさんのご質問がありましたが時間の許す限り説明を行い、これらを含めて2023年度の事業計画および予算は賛成多数で承認されました。

次に2023年度の役員選出について候補者の説明があり承認されました。

承認された新役員の紹介があり前に整列し、代表で石橋会長が「後援会は会員や学生のためになることを考えて活動するのはもちろんですが時代に沿った後援会の在り方も検討したいと思っています。これからもご理解ご協力をお願いします」とあいさつがありました。

総会終了後、総合情報学部ゲーム＆メディア学科の由良泰人教授に「映像と周辺」～活動実績から～

と題して講演をいただきました。

講演では教授の過去の活動の中からとても楽しいお話をお聞きすることが出来ました。

映像、映画などの作品の中で使われている効果音の作り方などもとても興味深い内容でした。

総会、講演を終了した後は学科別懇談会が各学科別の教室で行われました。

学科の実情、進路情報などを忌憚なく聞くことが出来、普段先生方とお会いする機会の少ない保護者にとって貴重な時間になりました。

皆様には昨年度の後援会活動にご協力いただきましたこと、役員一同、心より御礼申し上げます。また今年度以降も引き続き、後援会活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

総会・講演会・懇談会　参加アンケート結果

■ 今回もこの場にてお世話になれましたこと、心より感謝申し上げます。
年に一度の総会、入学時より毎回足を運ばせて頂いておりますが、年度変わりを実感し身の引き締まる思いでおります。
今年度の総会は、質疑応答時に発言される方が多く、またお一方当たりのお時間も長いように感じました。突然のご質問に丁寧にご回答くださった、会長様職員様には頭が下がります。ただ時間的にも厳しい状況になってしまい‥約 30 分押しと言うのは過去記憶になかったかと存じます。

■ 本年度の役員の皆さま一年間ご苦労様でした。
初めて総会に出席させて頂きましたが、大学における取りくみや、後援会の活動などを知ることが出来、はるばる岐阜から仕事を休んできた甲斐がありました。
寄付金の使い道などよく考えられたものと関心しております。
お金の価値観は、皆が同じ考えというわけにはいきませんね。
すべてが納得いくものになることはありえません。(気持ちはわかりますが)
只、今後とも子供の母校がよりよくなっていく事をのぞみます。
本年度もよろしくお願い申し上げます

■ 講演会のお話し、とても良かったのでもう少し聞きたかったです。
総会が長かったです。
冷房が (エアコン) が効きすぎていました。

■ 今日は総会を開催していただきありがとうございます。
子供が１～２年生の時は、コロナ禍の影響もありなかなか大学に来させていただくことが出来ませんでした。
これかれも後援会の活動がさらにしっかり運営されていくことを願います。
自分たちの子供達のため、大学のため、地域のため、世の中の役に立つことのできる大学のしくみつくり、環境を整えたり、もりあげていけるよう後援会のみなさまの活動を見据えた上で・・何か少しでもお役に立てるようなことがあれば幸いです。
時々、体調の悪いときもありますが今日は総会に来れてとても良かったです。
どうもありがとうございました。
講演会も楽しかったです。

■ 去年、本日と参加させて頂きました。講演会の内容も普段見聞きする事はない為、興味深く拝聴しました。4回生のため懇談会では色々聞くことが出来よかったと思います。

■ 後援会の予算は継続的な教育活動を目的としておられる為、単発的なものは事業として予算が認められないとの認識です。

■ 後援会は保護者側と事務局が連携し、大学側との協議により役員会など大切な会議を経て、事業計画案を出されているため、それを覆すような意見 ... やはり反対はどうしてもありますね ...

■ 電通大ではこうした苦悩の時期に実は、コンペが行われており、２～３年を経ていずれ終息するであろうコロナ禍に向けて、着々と進んでいる、キャンパスの中庭計画であった。その計画を削減させるのではなく、なんとか早期に実現させるために後援会からも支援したい。そのための４千万だと・・・ぜひこの素晴らしいストーリーを大学の広報事業として、マーケティングの一貫として取り組んで頂きたいと思いました。
会長様、後援会の皆さま、大変お疲れ様でした。

■ 由良先生のお話はとても興味深く引き込まれました。アニメが完成するまでの過程がとても地道で丁寧かつプロファッショナルな方々による積み重ねにあることを知り、音の世界の神秘に感動しました。どんなことでも楽しめること、ものづくりの素晴らしさと大切さを感じました。

■ 就職のお話は大変参考になりました。まだ、始めたばかりの大学生活ですが、少しでも興味のあること、やりたいことを見つけて、胸を張って第一志望です！と言えるような企業に挑戦してほしいと思います。常に意欲的にチャレンジしていけるよう今後ともご指導よろしくお願いいたします。
情報がなかなか息子から直接得られないので、本日は参加できてとてもよかったです。ありがとうございました。

■ 学科別懇談会で、具体的に先生方から就職に繋がるお話が聞けて大変参考になりました。 ありがとうございました。

■ 議事の進め方について、2023 年度の予算では大幅に時間を超過したが、ある程度で新たな質問を打ち切って欲しい。5 分､10 分ならまだしも､30 分超過は長すぎる。

■ 今日は講演会と懇談会に参加させて頂きました。どちらも有意義な話を聞くことが出来きました。ありがとうございました。

■ 貴大学の取組状況への理解が深まりました。

■ コロナや仕事の都合で、4 回生にして初めて出席しました。学科別懇談会、説明はわかりやすく、1 回生の時に参加できればよかったです。子どものゼミの先生がご不在とのことで、直接お話が聞く機会はないので残念でした。ありがとうございました。

■ はじめて参加させていただきました。 講演会は教授のクリエイターとしての活動のお話が聞けてとても楽しかったです。「どんな仕事でも興味を持ち面白がること」というお言葉は早速子供達にも伝えました。 懇談会のほうもいつもお世話になっている教授方のお顔を拝見しながらインターンシップや卒業研究などの情報が得られ大変有意義な時間でした。 貴重なお時間ありがとうございました。

■ 後援会総会大変お疲れ様でした。 総会は一言で言うととても良かったと思います。 決算報告で映像を使った報告は分かりやすく納得していただけたのではないかと思います。 その際いただいたご意見については、学校への要望と後援会への意見が混同しているものが見受けられ、他の後援会員の方に混乱を招くような事態になりかねないなと思いましたが、会長副会長が上手く収めてくださって本当に素晴らしかったです。

■ 講演会では、映像の作り方について、大変貴重なお話をしていただき、とても興味深く、楽しく聴かせていただきました。
懇談会では、就活について、具体的な動きについて説明いただき、よくわかりました。
個別の相談も、親身に聴いていただきました。
今回、参加させていただいた事で、学校の色んな事を知る事ができ、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。これからも、遠くから子供を見守っていく事しかできませんが、今後とも、よろしくお願

いします。

■ 総会が延びるのはそれぞれの見識で発言される方がいるので、やむを得ないかと思いました。
講演会はとても興味深く拝聴しました。毎年違った先生の話を楽しみにしています。
懇談会は他の保護者の方々の考えや不安を共有できる機会で、先生にも真摯にお答えいただき大変有意な時間でした。

■ コロナで入学式もなく、大学に行ける機会がないまま卒業するのも寂しいと今回思いきって参加致しました。
結果、大変充実した時間を過ごさせていただきました。
普段は見ることができない、実験室、ゼミを見せていただき、先生方、保護者の方とも情報共有できました。１年から参加しておけば良かったと今更ながら思っております。

■ お世話になっております。今回初めて出席しました。定期総会については、質問や意見が多く、いろいろな話が聞けて、良かったと思います。
由良先生の講演は、興味深く拝聴しました。今回出席を決めたのは、先生の講演があるからでした。時間が押していて、お気の毒でした。先生、貴重なお話ありがとうございました。
学科別懇談会は、我が子のグループ担任はいらっしゃらず、ご挨拶できず残念でしたが、その他残りの方々で楽しくお話ができました。知らないこともありましたので、勉強にもなりました。ゼミの先生も決まったとのこと、お世話になります。また、就職活動については、のんびりな我が子で心配しております。先日はリクナビのイベントに参加しました。わからないことがあれば、就職課に相談するよう伝えました。 皆様お疲れ様でした。出席できて有意義でした。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■ 予算執行にあたり、数々の制約等から学校側からの要望にお答えするのは平等性の観点から考え、最善策だと思います。
ご自身の考える理想論の内容や、コロナ禍の特別対応を理解出来ていない方々が多く見受けられた中でのご対応に深く感謝致します。
開かれた学校を目指すのにあたり、昨今の不審者対応もあり、とても難しい舵取りが今後も続くと推察致します。もし可能ならば出来る事だけでなく、学校の依頼は学生の総意の意見である事が分かれば多少理解を得やすかったのではないかと思いました。
講演会はとても興味深く、また講義が受けられる機会があれば是非参加させて頂きたく思います。
先生方との懇談会は、何も分からない中での大学生活の当面の今後の不安がなくなり、とても助かりました。ありがとうございました。 総会成立おめでとうございます。

■ 大変有意義な時間、ありがとうございました。担当教授と気楽にお話ができる貴重な機会を下さり、関係各所のご苦労に頭が下がります。

（紙面の関係で全てを掲載できませんでした。
ご了承ください。）

学科別懇談会の様子

講演の様子

2022（令和４）年度　事業報告

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

2022年度は、事業計画に基づいて、①家族間で相互理解を深めるための活動②学生士気向上への支援活動③大学のイメージアップと会員相互の親睦を図る活動を目標に活動をしました。

1　家庭との連携

後援会活動や大学について知って頂き、また後援会員の交流を図るため、後援会たよりを年２回（春号、秋号）発行しています。

No.48（春号）では、過去２年間の学生の就職先一覧や、オンラインで開催されました2021年度なわてん（卒業研究卒業製作展）の後援会賞研究発表の紹介や、各賞の作品を紹介、建築学科卒業制作展の紹介をしました。

表紙デザイン募集には、学生さんや保護者の方から多数応募頂き、厳正なる選考を実施致しました。2022年度の春号、秋号の表紙に採用させて頂きました。

No.49（秋号）では、３年ぶりの定期総会、学科別懇談会、イノベーションスクエアの見学の様子を掲載。新任の先生のご紹介と挨拶、寝屋川キャンパス、アクティビティホールに体育館シート寄贈の報告、父母の声など掲載しました。

この他、大学発行の「学園報」をお届けするとともに、教育懇談会などの大学行事への補助をしました。

2　学生支援

コロナ感染状況が落ち着いてきたことから、学生の活動が活発になりました。

四條畷キャンパス１号館１階コネクトスポットにエアコンを寄贈。学会発表補助やクラブ活動援助金、出席集計支援など、学生の勉学、課外活動、就職活動に対する援助を行いました。

3　大学祭（寝屋川）なわフェス（四條畷）

2022年度の寝屋川キャンパスの大学祭は３年ぶりに開催。プラカップでコースター作りや、当てくじを出展し近隣住人や学生さんに楽しんでいただきました。なわフェスは前年度はオンラインでの開催でしたが、３年ぶり対面での開催となり大学祭同様、工作やゲームの出展をしました。

4　大学探訪、大学行事参加

大学内の様子を保護者の方に紹介するため、キャンパス内の探訪を行い、学生と共に授業を受けました。また、３Ｄ造形先端加工センター見学もさせていただきました。

昨年に引き続き2022年度もなわてんはオンライン開催となり、ネットで研究発表を閲覧し厳正な審査を行い、後援会賞を決定し表彰、合計22点に副賞として図書カードの協力を致しました。なわてんグランプリもオンライン開催となり、後援会賞表彰式では渡部先生に会長のメッセージを代読して頂きました。

前年度に引き続き、建築学科の優秀な卒業作品に賞を協力させて頂きました。

2022（令和４）年度 収支決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

■ 収入の部

（単位　円）

費目	予算額	決算額	会費徴収内訳		
会費	29,520,000	29,520,000	2022 年度新入生（大学）	1,430 名	（@20,000） 28,600,000
受取利息		250	〃（大学院前期課程）	86 名	（@10,000） 860,000
前期から繰越	10,033,358	10,033,358	〃（編入学生）	6 名	（@10,000） 60,000
合計	39,553,358	39,553,608	合計	1,522 名	29,520,000

■ 支出の部

（単位　円）

費目	予算額	決算額	備考
通信費	5,300,000	3,900,984	成績表送付費用援助、後援会たより（２回）、学園報（２回）、郵送料
広報費	7,000,000	6,623,580	後援会たより作製費（2022 年春・秋号）、キャンパスカレンダー、ホームページ更新、クオカード
大学行事補助費	2,500,000	2,428,276	教育懇談会支援、別注手提袋（布製）等
学生教育支援	1,500,000	53,850	建築学科卒業制作展支援
就職対策補助費	1,500,000	564,139	保護者向け就職関連情報提供の開始通知費用（はがき作成、郵送料）、学生向け就職活動支援動画２本の制作費
課外活動補助費	800,000	504,613	クラブ活動援助金等
学生福利厚生補助費	6,800,000	6,686,970	三文の徳朝食、四條畷キャンパスエアコン設置工事一式 Ｊ号館１階食堂及び６号館１階テラスにテーブル、椅子寄贈、振込料
入学記念品補助費	1,400,000	1,386,330	入学記念品シャチハタ印（学科・専攻）
研究発表等補助費	1,000,000	1,515,360	学会発表交通費補助等（卒研生 57 名、院生 46 名）
集会費	1,500,000	354,595	後援会総会、役員会等
行動費	700,000	210,881	大学祭模擬店出店、なわフェス協力金
会員相互扶助費	500,000	330,000	弔慰金（会員９名、学生２名）
事務費	1,200,000	887,646	コピー機リース料、会員送付用封筒、事務用品、消耗品、印刷費等
業務委託費	4,600,000	4,328,330	後援会事務、取材（後援会たより）等
渉外費	200,000	100,220	硬式野球部阪神大学野球連盟１部初昇格記念募金
手数料	400,000	353,540	後援会費振込手数料
予備費	653,358	0	
積立金	2,000,000	2,000,000	周年事業
次期へ繰越		7,324,294	
合計	39,553,358	39,553,608	

現金預金	7,324,294
積立金（定期預金）	6,000,000

後援会・友電会貸与奨学金返還金	48,634,996
受取利息	105
合計	48,635,101

以上の通り報告いたします。

会計　伊藤登紀子 印

会計監査報告

帳簿並びに関係書類を監査の結果、いずれも適正に処理されているものと認めます。

2023 年４月28日

会計監査　竹内真秀 印　辻本敏行 印

2023（令和５）年度 事業計画

2023年4月1日～2024年3月31日

後援会は学生の保護者と教職員が連携し教学の使命達成に協力する集まりです。

家族の方々が、学園生活や大学について理解を深めることによって、家族間の相互理解を深めることを目指しています。さらに、後援会として学生と大学を物心両面で支援し、保護者同士の親睦を図るとともに、大学教職員との交流を図り、事業を円滑に進めます。

年２回発行する「後援会たより」や後援会ホームページで、学生の学園生活や大学の情報を提供するとともに、後援会が実施する様々な取り組みを通じて、参加された保護者、家族の方が、学生の学園生活及び大学について、より一層理解を深めていただけるよう努めていきます。

勉学面、家族・学友・教職員との関係など、充実した学園生活が送れ、人格的にも成長が図れるための環境作りの支援を進めるとともに、周辺地域の方々から、学生や大学に対して好感を持っていただけるよう、地域との交流を図ります。

今年度の事業計画は次のとおりです。具体的な行事や取り組みは、役員会などで検討し、提案します。積極的な参加をよろしくお願いします。

1．家族間で相互理解を深めるための活動

（1）後援会たより（会報）の発行、送付
（2）ご家庭へ「学園報」の送付
（3）ご家庭へ成績表送付の援助
（4）教育懇談会への援助
（5）総会及び懇親会（先生方との意見交換等）の開催

2．学生士気向上への支援活動

（1）学生の学会参加への援助
（2）就職活動への支援
（保護者向け就活セミナー開催、学内チャンピオンシップ表彰支援）
（3）なわてんへの支援・建築学科卒業制作展への支援
（案内状送付及び優秀作品に対する後援会賞・副賞授与及び各賞副賞援助）
（4）クラブ活動支援、功労サークルへの援助
（5）大学祭（寝屋川キャンパス）、なわフェス（四條畷キャンパス）に対する支援
（地域へのチラシ金券等援助、会員による模擬店出店等）
（6）学生の福利厚生への援助、勉学への志気向上の為の環境整備、学生応援 day、三文の徳食堂への協力
（7）貸与奨学金制度（友電会－大学同窓会組織－との共同施策）
（8）寝屋川・四條畷キャンパス整備支援

3．学生のキャンパスライフを知る活動

（1）キャンパス探訪実施
授業見学、キャンパス見学（寝屋川キャンパス、四條畷キャンパス）
（2）イベント参加等によるキャンパスライフウォッチ
（大学祭、なわフェス、なわてん表彰等）

2023（令和５）年度　収支予算

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

■収入の部

（単位　円）

会費合計	30,580,000
後援会･友電会貸与奨学金返還金	48,635,101
前期から繰越	7,324,294
収入合計	86,539,395

会費内訳

2023年度	新入生（大　学）	1,487名（@20,000）	29,740,000
〃	（大学院前期課程）	80名（@10,000）	800,000
〃	（編入学生）	4名（@10,000）	40,000
合計		1,571名	30,580,000

■支出の部

（単位　円）

費目	2022年度予算額	2023年度予算額	備考
通信費	5,300,000	3,000,000	成績表送付費用援助２回、後援会たより２回、学園報２回郵送料
広報費	7,000,000	7,000,000	後援会たより（2023 年春･秋号）、キャンパスカレンダー、HP 更新、クオカード
大学行事補助費	2,500,000	3,000,000	教育懇談会支援、別注手提袋（布製）等
学生教育支援	1,500,000	1,500,000	なわてん後援会賞・各賞副賞の支援、建築学科卒業制作支援
就職対策補助費	1,500,000	800,000	学生・保護者向け就職関連情報の購入や提供に関する諸費用、学内チャンピオンシップ表彰支援等
課外活動補助費	800,000	800,000	クラブ活動援助金他
学生福利厚生補助費	6,800,000	5,000,000	三文の徳食堂、学生応援 day 支援、学生福利厚生に関わる費用
入学記念品補助費	1,400,000	1,500,000	入学記念品シャチハタ印（学科・専攻）
研究発表等補助費	1,000,000	2,500,000	学会発表交通費等補助（学部生、院修士学生）
集会費	1,500,000	1,000,000	後援会総会、役員会等
行動費	700,000	700,000	大学祭・なわフェスへの支援、模擬店出店等
会員相互扶助費	500,000	500,000	弔慰金、供花、弔電
事務費	1,200,000	1,200,000	コピー機リース料、会員送付用封筒、事務用品、消耗品、印刷費等
業務委託費	4,600,000	5,350,000	後援会業務及び書類発送に係る業務一式、取材（後援会たより）等
渉外費	200,000	200,000	各種団体支援、地域貢献活動支援等
寝屋川･四條畷キャンパス整備支援費		48,635,101	
手数料	400,000	400,000	後援会費振り込み手数料
予備費	653,358	1,454,294	
積立金	2,000,000	2,000,000	周年事業や特に必要と認める事業
合計	39,553,358	86,539,395	

2023年度　後援会役員名簿

役職名	氏名	学科
会長	石橋美和	1M
副会長	十河欣也	4T
副会長	前田真弥	2W
会計	市田ひかる	3N
会計監査	竹内真秀	4C
会計監査	辻本敏行	(大学会計課長)
幹事	生田昌代	1B
幹事	市橋浩子	4J
幹事	市村裕行	4F
幹事	井爪順子	1H 1W
幹事	河渕友香里	1N
幹事	西口まり	4P
幹事	橋本邦子	2M

役職名	氏名	学科
幹事	前田倫	4U
幹事	松山ゆかり	4U
幹事	八尾友紀	2S
幹事	八代智子	4E
幹事	幸剛史	1T
幹事	脇阪佳工	1H
顧問	吉川隆章	
顧問	坂倉照代	
顧問	伊藤登紀子	

常任幹事	
大学事務局長	寺西正光

学内幹事	
副学長	新川拓也
副学長(工学部長)	兼宗進
情報通信工学部長	小森政嗣
医療健康科学部長	赤滝久美
総合情報学部長	大西克彦
共通教育機構長	原田融
大学院代表	登尾啓史
大学事務局学事部長	岩村真吾
学務部長	柴垣佳明
学務部事務部長	不破信勝
就職部長	土田修
四條畷事務部長	渡邊堅一
入試部次長	中村文俊
学事課長	矢ノ根かおり

2023年度 会員の地域別分布状況（大学･大学院）　2023.7.1現在

府県別		会員数
北海道		3
東北	青森	1
	岩手	0
	宮城	2
	秋田	1
	山形	3
	福島	1
	小計	8
関東	茨城	2
	栃木	2
	群馬	3
	埼玉	0
	千葉	8
	東京	7
	神奈川	5
	小計	27

府県別		会員数
北陸中部	新潟	2
	富山	9
	石川	13
	福井	12
	山梨	0
	長野	6
	岐阜	6
	静岡	9
	愛知	14
	小計	71
近畿	三重	52
	滋賀	240
	京都	556
	大阪	3,158
	兵庫	1,052
	奈良	345
	和歌山	110
	小計	5,513

府県別		会員数
中国	鳥取	9
	島根	2
	岡山	20
	広島	20
	山口	10
	小計	61
四国	徳島	24
	香川	24
	愛媛	20
	高知	8
	小計	76

府県別		会員数
九州沖縄	福岡	10
	佐賀	0
	長崎	3
	熊本	4
	大分	3
	宮崎	4
	鹿児島	4
	沖縄	6
	小計	34
合計		5,793

在籍学生数　2023.7.1現在

■大　学

工学部・情報通信工学部・医療健康科学部 (医療福祉工学部)・総合情報学部

学科	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
電気電子工学科	87	4	91	107	1	108	80	3	83	77	3	80	351	11	362
電子機械工学科	92	3	95	100	1	101	101	7	108	73	4	77	366	15	381
機械工学科	101	1	102	108	2	110	99	1	100	75	3	78	383	7	390
基礎理工学科	68	10	78	72	5	77	53	9	62	41	14	55	234	38	272
環境科学科	110	10	120	99	6	105	91	3	94	77	12	89	377	31	408
建築学科	88	12	100	85	10	95	74	16	90	73	15	88	320	53	373
計	546	40	586	571	25	596	498	39	537	416	51	467	2, 031	155	2, 186
情報工学科	173	6	179	188	6	194	166	10	176	139	9	148	666	31	697
通信工学科	95	4	99	90	6	96	90	5	95	73	4	77	348	19	367
計	268	10	278	278	12	290	256	15	271	212	13	225	1014	50	1064
医療科学科	98	7	105	86	10	96	68	8	76	59	9	68	311	34	345
医療福祉工学科	0	0	0	0	0	0	7	0	7	6	2	8	13	2	15
理学療法学科	35	7	42	37	11	48	35	5	40	38	7	45	145	30	175
健康スポーツ科学科	65	9	74	66	3	69	65	7	72	60	8	68	256	27	283
計	198	23	221	189	24	213	175	20	195	163	26	189	725	93	818
デジタルゲーム学科	150	14	164	137	18	155	144	17	161	124	14	138	555	63	618
情報学科	102	11	113	99	8	107	92	8	100	96	7	103	389	34	423
ゲーム＆メディア学科	114	23	137	113	15	128	111	17	128	104	15	119	442	70	512
計	366	48	414	349	41	390	347	42	389	324	36	360	1, 386	167	1, 553
合計	1, 378	121	1, 499	1, 387	102	1, 489	1, 276	116	1, 392	1, 115	126	1, 241	5, 156	465	5, 621

■大学院

工学研究科・医療福祉工学研究科・総合情報学研究科

専攻	博士前期課程（修士課程）									博士後期課程												総計		
	1年次			2年次			合計			1年次			2年次			3年次			合計					
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
工学研究科	54	5	59	62	2	64	116	7	123	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	118	7	125
医療福祉工学研究科	8	1	9	6	1	7	14	2	16	0	0	0	2	1	3	2	0	2	4	1	5	18	3	21
総合情報学研究科	12	2	14	18	1	19	30	3	33	0	0	0	0	1	1	2	0	2	2	1	3	32	4	36
合計	74	8	82	86	4	90	160	12	172	1	0	1	3	2	5	4	0	4	8	2	10	168	14	182

後援会より

キャンパス整備支援として寄付しました

前列左から寺西大学事務局長、兼宗副学長、塩田学長、石橋会長、
十河副会長、前田副会長、後列はデザイン提案者の大学院生３名

８月 19 日（土）、寝屋川キャンパス J 号館１階ラウンジにて、
寝屋川キャンパスに完成した OECU 広場 West の造成事業への
寄付金として、贈呈式を執り行い、石橋会長より、塩田邦成学長に目録が手渡されました。
石橋会長は「学生さんの研究や授業の合間に、リフレッシュできる場所として
使っていただけたらうれしいです。」とあいさつしました。
塩田学長から「いつもご支援・ご協力を賜りありがとうございます。
この広場は学生自らがデザインしました。大学祭などのイベントはもちろん、これから
様々なシーンで使われていくことに期待しています。」とお礼の言葉をいただきました。
贈呈式後に、広場にて最優秀賞を受賞した大学院生の方から
広場への想いなど説明を聞きました。

最優秀賞を受賞したコメント

コンセプト及び出展経緯

我々が大阪電気通信大学の建築学科一期生として入学してから、まもなく６年が経ちます。大学、大学院と建築の学びを深める中で多くの経験を積み、挑戦を続けてきました。今回の大学広場のコンペテイションはその大きな挑戦の一つであると言えます。

我々は主に２つの思いを胸に本コンペテイションに参加するに至りました。

１つ目は建築学科の一期生として、形に残せるものを作りたかったからです。寝屋川キャンパスの新棟の開発と同時期に設立された建築学科。そしてめぐり合わせのように企画された、学生による広場のデザイン提案。この機会を通じて４年間（デザイン提案当時）学んできた建築学を体現し、他学部・他学科の生徒に対しても胸を張ることができるものを作りたいという思いでした。

建築学コース２年　高橋侑里

２つ目は切磋琢磨してきた北澤研究室（意匠設計）の仲間と思い出に残る共同制作を行いたかったからです。一期生という点で先輩がいない状況の中、北澤先生の思い、そして考えを DNA として紡いできました。その DNA は各々の解釈のもと身につけ、試行錯誤の中建築学科として他大学にも負けない実績を残してきました。今回は３人の設計に対する解釈をぶつけ合い、共に作り上げたいという思いでした。結果として、素晴らしい広場に仕上がり、思い出になりました。

我々は幾つかのコンセプトのもと、広場のデザイン提案を行いました。そのコンセプトとは、『過去の記憶が紡ぐ新たな広場』と『大学の中心となる広場』です。

前者のコンセプトは、新棟の建設にあたり、今まで学生の憩いの場所であった「円形芝生広場」や「中庭ステージ」が取り壊されたことから、これらの空間要素を新たな広場にも継承しようと考えたものです。「円形芝生広場」と「中庭ステージ」はそれぞれ求心性があり、２つの要素を組み合わせることにより「アリーナ型の円形芝生ステージ」として継承することをコンセプトとしました。

建築学コース２年　松本康平

後者のコンセプトは、寝屋川キャンパスの核となる新棟と広場の東西軸、J 号館と広場の南北軸を基準として、各軸の交点に円形広場を配置しようと考えたものです。軸を基準とすることで、キャンパス内の２棟を円滑に繋ぐことが可能となり、どの学習棟からも人が集まることができることをコンセプトにしました。

最後に、この広場に対する設計者からの思いを綴ります。

この広場は、過去・現在・未来を繋ぐ広場であると考えています。我々がコンセプトにあげたように、過去にあったものを現在の空間に取り入れることにより、かつて大学を利用した人たちにもどこか懐かしさを与え、過去と現在を繋ぐことができる広場を提案しました。また現在から未来へは、千差万別です。これからの使われ方により、大きくかたちを変えていくことでしょう。現在の広場はまだ真っ白なキャンバスであり、これから大阪電気通信大学らしさのある広場へと全学部・学科の皆さんで繋いでいってもらえると幸いです。

建築学コース２年　武田剛

創立 80 年を迎えた大阪電気通信大学において、学生・教員・来校する全ての人々の憩いの場となり、紡がれてゆく広場になって欲しいと願います。

後援会より

テーブルと椅子を寄贈

後援会では、令和４年度の事業として、大学に対して
寝屋川キャンパスＪ号館１階食堂及び四條畷キャンパス６号館１階テラスに、
テーブルと椅子を寄贈いたしました。

寝屋川Ｊ号館食堂

４月28日（金）、テーブルと椅子の贈呈式を行い、石橋会長より塩田邦成学長に目録が手渡されました。

塩田学長から「学生のアメニティ向上にご協力いただきありがとうございました。お気づかいに感謝しております。学生たちがご両親に感謝し、しっかりと成長してくれればと思います。」とお礼の言葉をいただきました。

四條畷６号館テラス

2023年度 新任先生のご紹介・ごあいさつ

昨年９月及び今年度４月より新しく着任された先生方をご紹介いたします。
先生方にはごあいさつの執筆をお願いし、または後援会の記者からインタビューさせていただきました。

お名前（所属）	担当科目
谷垣健一 先生 （機械工学科准教授）	電気電子工学、機械設計製図１、図学基礎、機械工学実験１、ゼミナール１・２・３・４、インターンシップ、計測工学、プレゼミナール、機械工学連携講座
光石暁彦 先生 （昨年９月より） （環境科学科准教授）	空気調和・冷凍工学、キャリア設計プロジェクト実践、プロジェクト活動スキル入門、住環境工学実験、流体力学、プレゼミナール、環境科学入門、エネルギー交換工学、住環境工学演習
木村佳記 先生 （理学療法学科教授）	運動療法学、理学療法学概論、医療接遇マナー学、神経系理学療法学演習Ａ、理学療法管理学、臨床実習６、日常生活活動学実習
石塚丈晴 先生 （メディアコミュニケーションセンター教授）	コンピュータリテラシー１・２、コンピュータリテラシー実習１・２、プログラミング基礎実習２

新任先生からごあいさつ

工学部
機械工学科
准教授
谷垣健一（たにがき けんいち）先生

「面白い」を原動力に社会を良くするテクノロジーへ

2023年４月に機械工学科に着任した谷垣と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私の出身は滋賀県甲賀郡（現・湖南市）で、「忍者の里があるところです」と語るにはかなり距離が離れている、平凡な片田舎の住宅地で育ちました。私は大学から大学院まで大阪大学の基礎工学部/基礎工学研究科で学び、ポスドク経験を挟んで阪大基礎工で助教として勤務してきました。もう人生の半分を大阪で過ごしているので本人的には大阪人のつもりですが、先日、りくろーおじさんのチーズケーキを食べたことがないことを指摘され、まだまだ先は長いと感じている今日この頃です。

さて、私の研究室は計測工学研究室という名前です。文字を見ていただければ「はて、きっとこの人は何かを測る人なのだろう」という印象は持っていただけると思うのですが、一言で計測といってもかなり漠然とした言葉ですので少し説明させていただきたいと思います。

〈計測工学って？〉

機械工学には四大力学という言葉があります。これは機械工学の根幹をなすとされる「熱力学・流体力学・材料力学・機械力学」の４つを指しています。これらの学問がそれぞれどのような事柄を扱っているのかは、名前から直感的にイメージして頂きやすいと思います（機械力学だけはちょっと想像しにくいかもしれませんが、ピストンのような機械の動きに特化した学問だと思ってください）。

これに対して「計測工学」はややマイナーかもしれませんが、対象の正確な計測や、そのためのセンサーの開発などに関わる事柄を扱います。つまり計測工学は、様々な実験的研究の基礎を支える学問であると言えます。この意味で言えば固体だろうが流体だろうが計測している限り扱うことができるので、個人的にはとても面白い立ち位置と思っています。

〈どんな計測を？〉

実は私は、これまで学生時代からずっと材料力学の研究室に所属し、材料のかたさや強さの研究を行なってきました。機械工学科の材料の研究室ですから、世界中大概どこでもその対象は金属、セラミックス、プラスチックなど工業製品の素材となるものが殆どです。そんな中、当時の上司である教授が「植物は面白いよ」と導いてくれたことが転機となり、現在では植物が見せる（魅せる）多彩な姿と性質をメインテーマとして研究を行っています。

その中でも特に現在は、３Ｄスキャンを活用して植物の複雑かつ美しい形状を正確に計測すること、そしてその形状をコンピュータシミュレーションを活用して数理的に理解すること、また繊細な力学試験を通じて植物の高効率な力学的性質を明らかにすることに取り組んでいます。

〈植物のカタチとチカラ〉

「植物？機械となんの関係が？」という疑問はごもっともですので、例をひとつご紹介します。

我々の食卓に馴染み深いキュウリは、他者に巻き付きながら上に登っていくツル性の植物です。これ自体はよくある話なのですがその巻きつき方に特徴があります。例えばアサガオやブドウのツルは本体が支柱にらせんのように絡みつくのですが、キュウリの場合は巻きひげと呼ばれる巻き付き専用の器官を伸ばして巻き付きます。そして最も特徴的なのは巻きついた後で、右巻きと左巻きのらせんが一対でペアになった特徴的な構造をとるのです（家庭菜園などされておられる方はぜひ観察してみてください）。

この美しくも機能的な姿は、かのダーウィンが著書にそのスケッチを残していますが、2019年のＭＩＴの研究で、このキュウリのらせんの形状が人工筋肉やソフトロボットなどに応用できることが報告されています。ダーウィンから150年以上経って、身近な植物の何気ない姿が、急に工学の最先端に躍り出てくるなんてとても興味深いと思いませんか？

植物は基本的に動物のように動き回って餌を摂取することができません。日が照っても雨が降ってもじっと耐え、その場で得られるエネルギーだけで生きているわけで、とてもエコな存在といえます。計測を通じて植物の素晴らしい底力を解き明かしていくことで、現在社会の喫緊の課題となっているＳＤＧｓの達成にも大きく貢献できると考えています。

プロフィール

2011年　大阪大学 大学院基礎工学研究科 博士後期課程 修了
2011年　日本学術振興会 特別研究員（ＤＣ）
2012年　大阪大学 大学院基礎工学研究科 助教
2023年　大阪電気通信大学 工学部機械工学科 准教授

新任先生からごあいさつ

工学部
環境科学科
准教授
光石暁彦（みついし あきひこ）先生

目には見えないものを感じながら

2022年９月、工学部環境科学科に准教授として着任致しました光石暁彦と申します。皆様へのご挨拶の機会を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

私は大学院を修了してから、これまでに豊橋技術科学大学と東京農工大学にて勤めてまいりました。どちらにおいても機械工学系の学科でお世話になっておりましたが、このほど環境科学科という学科で仕事をさせて頂くことになり、心機一転、新たなことに挑戦していこうと思っております。専門は流体力学で、その中でもコンピュータを用いた詳細な数値シミュレーションを得意としております。

工学部と聞きますと、ものづくりに関わる学問を扱う関係上、多くの人は目に見えるモノとのつながりを意識すると思います。ロボット・食品・薬品・建物・自動車のように、私たちの暮らしは様々な便利なモノによって支えられています。学生さんの中にも、将来そういったモノを作る仕事に就きたいと思っている方は大勢いるでしょうし、卒業生の中には、実際にそういう仕事をなさっている方も多いことでしょう。しかし、流体を代表する空気の運動はたいてい目には見えませんし、水もほとんどの場合、見えているのは空気との間の界面の形だけです。ある年の新学期に、期待に胸をふくらませる学生さんたちへの研究紹介の場で、他分野の先生方が「工学部は目に見えるモノの大半が研究対象です」とお話しされたことがありました。私は、自身の番になって、小声で「目に見えないものも扱っていますよ」と付け加えさせて頂きました。そのくらい、一般的に空気の存在を意識する機会は少なく、意識したとしても理解し難いものだと思います。

それでも、近年になって、そんな目には見えない空気の動きをどうしても意識せざるを得ない出来事が起こりました。それが、新型コロナウイルスによる感染症の蔓延です。当初は接触感染や飛沫感染によって感染するという報道が主でしたが、ウイルスの変異に伴って感染が拡大するに連れ、空気感染やエアロゾル感染にも注目が集まるようになりました。読者の皆様の中にも、理化学研究所のスーパーコンピュータ富岳を駆使した飛沫飛散のシミュレーション画像や、レーザー光に照らされた換気流れの可視化結果などを目にした方も多いと思います。私が着任しました昨年９月は、日本における第７波の真最中で、まだ断続的に年に２度は感染の波が押し寄せ続けている状態でした。このような状況下で環境科学科に着任した流体研究者として、今後またいつ起きるか分からない感染症蔓延に備えて、効果的な対策に関する科学的な知見を積み重ねることが大事だと思っています。

部屋の中の気流について少し考えてみましょう。仮に室内に感染者がいたとしても、その空気を猛烈な勢いで外に出して、代わりにきれいな（とされている）外気を同じ勢いで取り込めば周囲の人への感染の心配はありません。しかし、それでは室内は常に暴風にさらされ空調も全く効かず、快適さは損なわれてしまいます。逆に、部屋を完全に閉め切ると空調の効きは最も良くなりますが、その部屋の中に感染者がいた場合、周囲の人への感染のリスクは限りなく高まります。このように、安全と快適は往々にしてトレードオフの関係にあるので、時と場合に応じて最適な妥協点を探る必要があります。今後は、建物の設計における室内気流の扱いの精巧さにおいて、これまで以上に高い水準のデザインが求められるのではと感じています。

私たちの生活空間は、まず間違いなく空気で満たされています。願わくは、見えない相手におびえるのではなく、うまく付き合いながら暮らしていけるようになりたいですね。そんなことを考えながら、本学で出会う人たちと一緒に仕事をしていこうと思っております。

プロフィール

2007年　東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了
2007年　豊橋技術科学大学大学院工学研究科機械システム工学系　助教
2010年　豊橋技術科学大学大学院工学研究科機械工学系　助教
2018年　東京農工大学工学研究院先端機械システム部門　特任准教授
2022年　大阪電気通信大学工学部環境科学科　准教授

新任先生からごあいさつ

医療健康科学部
理学療法学科
教授
木村佳記（きむら よしのり）先生

専門技能と科学的視点を養おう。多くの交流から人間力を育もう。

〈ご挨拶と自己紹介〉

「後援会たより」にて、皆様にご挨拶をする機会をいただき、心より感謝申し上げます。私のルーツは四條畷キャンパスのある生駒山地を越えた奈良市にあり、本学の着任にご縁を感じています。

私は、病院の理学療法士として20年以上勤務してきました。特にスポーツ理学療法を専門とし、アスリートをはじめ幅広い世代のスポーツ愛好者の競技復帰をサポートしてきました。野球やテニスなどの競技大会のトレーナーや、2020東京オリンピックの選手村総合診療所での勤務も経験しました。これらの活動に並行して、機能障害の回復に向けた安全かつ効果的なトレーニングや、トレーニングロボットの開発にも取り組んできました。これからは、臨床と研究の経験を教育に活かし、本学の発展に貢献できるよう尽力いたします。

〈研究内容〉

私は、靭帯損傷や半月板損傷、軟骨損傷などの外傷後・手術後のリハビリテーションと障害予防を研究しています。特に、回復過程にある組織を保護しながら骨格筋を強化できる、安全なトレーニング方法を考案し、生体力学解析を用いた検証に取り組んでいます。片側殿部のみ着座するhalf sitting姿勢での下肢筋力トレーニングや、片脚スクワット中に反対側の下肢を平行移動する抵抗レッグリーチなど、様々な手法を臨床で実用化しました。また、トレーニングを効果的に行うため、電気的に抵抗を発生するトレーニングロボットの開発を医工連携プロジェクトとして行ってきました。今後もこれらの研究を通じて、アスリートだけでなく、多くの人の健康に貢献したいと思います。

〈教育について〉

私は、知識と技術を磨きながら人間力を高めること、研究に基づく科学的な視点を持つことは、専門家として関わる人々の抱える不安を解消し、希望を実現する一助になると確信しています。この信念は、学生時代からの恩師や、臨床で指導を受けた医師や同僚、共同研究者、そして多くの患者さんとの交流から得たものです。

私の授業では、専門技能に加えて、科学的な視点も養います。また、実際の事例や実技体験を通じた実学を大切にし、学生の皆さんが人や社会に役立ち、幸せを築く力を育む手助けができるように努めます。学生の皆さんには、ぜひ、自ら進んで教員や仲間と交流し、専門技能とともに豊かな人間性を培っていただきたいと願っています。

プロフィール

【学　歴】
2000年　大阪府立看護大学医療技術短期大学部 理学療法学科　卒業
2002年　神戸大学医学部保健学科 理学療法学専攻　卒業
2012年　大阪電気通信大学医療福祉工学研究科医療福祉工学専攻 博士後期課程　修了

【職　歴】
2000年～2022年　東豊中渡辺病院、大阪大学医学部附属病院　理学療法士として勤務
2022年　大阪大学大学院医学系研究科 健康スポーツ科学講座 運動器スポーツ医科学共同研究講座　特任研究員
2023年　大阪電気通信大学 医療健康科学部理学療法学科/大学院医学系研究科医療福祉工学専攻　教授

新任先生インタビュー

メディアコミュニケーションセンター
教授
石塚丈晴（いしづか たけはる）先生

コンピュータの基礎スキルを養成する『コンピュータリテラシー』を新入生向けに展開

ー先生のご専門は「情報科学教育」とお聞きしています。近年、小学校段階からICTやコンピュータの活用による情報活用能力の育成が求められていますが、本学においてはどのような教育を展開されているのでしょうか？

石塚　「情報科学」とはいろいろな理論を駆使して問題解決を考える学問で、プログラミング的思考もその一つです。

本学においては寝屋川キャンパス、四條畷キャンパスの両キャンパスで新入生を対象に全学教育として「コンピュータリテラシー」を身につける授業を担当しています。

最近の学生の多くはSNSを駆使したコミュニケーションを通して日常生活が成り立っています。メールで文章を書く機会がほとんどない学生も少なくありません。高校生まではそのような生活で困った経験をしなくても、大学生になると担当教員とメールでやりとりしたり、レポートや論文を作成したりする場面がぐんと増えます。ましてや卒業後、社会人になってからはビジネスシーンでしっかりした文章を書く能力が不可欠となります。

従って、本学では新入生の段階でこれから始まる大学生活に向けて必要なコンピュータの基礎スキルを養成しています。ワードやエクセルの扱い方、パワーポイントを使ってのプレゼンテーションのノウハウなどを授業の中で教えており、将来的にはデータサイエンス教育も取り入れていきたいと考えています。

―先生が「情報科学教育」のご専門分野に進まれたきっかけや、本学に就任されるまでの研究についてお聞かせください。

石塚　大学時代は物理学科で教職課程を履修していました。その当時コンピュータを使ったデータ処理が教職課程のカリキュラムに導入され、教育とコンピュータを結びつけるところに面白さと魅力を感じました。

大学院は学部時代と同様に物理学研究の道へ。そこで出会った指導教官とのご縁が情報教育や情報科学教育、プログラミング教育の道へ進むきっかけになりました。

教官は企業との共同研究を提案してくれました。そこで私は宇宙から飛んでくる素粒子をコンピュータで自動計測する機器の開発に携わりました。

静岡大学工学部に教員として就職してからは、教育用計算機システムの管理者兼教員としてコンピュータリテラシーやプログラミングを3年生を対象に教えていました。

そしてまたそこで新たな出会いがありました。教育工学を専門とする先生と意気投合し、共同研究をするようになりました。

ーご専門の学問研究領域において、先生が最も魅力を感じておられるのはどんなところでしょうか？

石塚　よく手品師が「種も仕掛けもありません」と言うシーンがありますが、実際には種や仕掛けがあります。それと同じように「情報科学」において課題解決する方法にも種や仕掛けが必ずあります。その仕組みに学生たちが関心を持ち、理解してくれることに魅力を感じます。

また、プログラミング教育を展開していく中で、つまずいて先に進めない学生がたまにいます。そんな時、学生が立ち止まってしまった箇所や間違えている箇所を分析し、検証していく作業もやりがいを感じます。

ー本学の教員に就任されて約半年経ちました。本学や学生に対してはどのような印象をお持ちでしょうか？

石塚　本学に教員として就任する前も工学部の先生との共同研究で何度か本学に来ていました。また、知人の教員には本学出身者が多く、社会で活躍する人材を多く輩出する大学というイメージを抱いていました。

学生に関しては能力が高い学生が多いという印象です。また、そのポテンシャルが花開くように学生をサポートしている教員が多いことも本学の特長だと思います。学生を教え導くことに対して情熱を持っている教員が多く、本学の学生は非常に恵まれた教育環境にいると実感しています。

さらには学外との交流プログラムが多いのも本学の強みです。社会に出る前に企業の方々と交流しながら研究に取り組む経験は大変貴重です。学生たちは専門知識や技術はもちろん、社会に出る前に一般常識を身に付け、大きく成長します。

ー本学で学生時代を過ごし、未来を担っていく若者にメッセージをお願いいたします。

石塚　色んなことに興味を持って、教員に「こんなことに挑戦してみたい」と積極的に持ち掛けてほしいです。私たち教員はそんなパッションにあふれる学生たちの能力を伸ばしたいと願っています。気軽に相談してくれることをお待ちしています。

プロフィール

東京理科大学卒業、新潟大学大学院を単位取得後退学。
静岡大学工学部助手・助教、（独）メディア教育開発センター客員准教授、福岡工業大学短期大学部情報メディア学科准教授・教授を経て大阪電気通信大学メディアコミュニケーションセンター教授。
静岡大学在職中に社会人学生として関西大学大学院修了。博士（情報学）。
情報処理学会、日本情報科教育学会、教育システム情報学会、日本教育工学協会などの各種委員、福岡県教育委員会の委員、情報オリンピック日本委員会ジュニア部会委員など。
小学校から大学までの情報教育、情報科学教育、プログラミング教育を研究。
日本だけではなく、アメリカやドイツでの小学校から高校でのゲストティーチャーとして授業経験あり。

第23弾

－ 2023.10.9（月・祝）授業日 －

施設見学・キャンパス探訪

寝屋川キャンパス　四條畷キャンパス

【キャンパス探訪】とは

後援会の揚げた事業計画に基づき会員を代表して、後援会役員が保護者目線で大学内の様子を見学し、取材記事をおこし紹介しています。

新型コロナウイルス感染症も令和５年５月８日から「５類感染症」になり、対面授業も増え活気のあるキャンパスを見学させていただきました。

寝屋川キャンパス

参加者　市田、河渕、西口、橋本、脇阪、坂倉

▼１限目

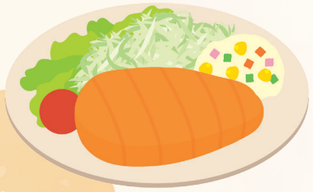
J号館1階食堂 エル・スエヒロ

今年度より通年運用となった『三文の徳食堂』。

Ｘ（旧 Twitter）やＨＰによると学生さんの評判も上々とのことで興味を抱き、Ｊ号館食堂の開店時刻である８時 30 分よりも少し早めに出向いて行った。既に食券の販売機に並んでおられる方もおいでで、人気の程が窺えた。

１限からの授業を取材するため 15 分程しか滞在することができなかったのだが、その僅かな時間に30名近くの学生さんが朝食をしっかり摂られ、慌ただしく教室へと向かって行かれた。皆さんのスピーディーで真面目な行動に朝から感心させられた。

足を運ばれたことのない学生さん、少し早起きして、栄養バランスの良い朝食でお得にパワーチャージしてみませんか。



今朝のメニューは
白身魚のフライ・唐揚げ・スクランブルエッグ・
ホウレン草のお浸し・千切りキャベツ＆人参、そしてマカロニ
サラダです。このボリュームでワンコイン！

学生さんの感想

「朝からコンビニに寄ったり外に出たり
しなくて済むので、とても助かっています」
（大学院工学研究科 ２年 橋本くん）

メカトロニクス実践演習2

▼学年：電子機械工学科　２年
▼教室：Ｊ－７０３
▼教員：兼宗 進先生

〈授業内容〉

第４回　関数化、カメラ利用

機能の関数化、PC のカメラ利用

スマートフォンを利用して画像を撮影してみる。

マクロ撮影し拡大すると、ハローキティーの黄色い鼻は赤と緑で構成されて、顔の美白は赤・緑・青、赤いリボンは赤だけかと思いきや、赤に緑が１段ごとに入っていました。

カメラ画像を関数化し、データ化する。

画像の向き（矢印の向き）を判断する。

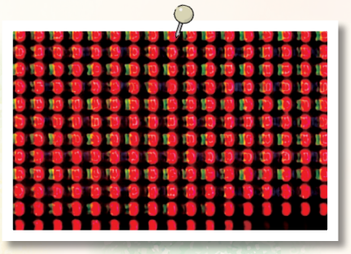
ロボットカーを動かすためには必要な知識となる。

…感　想…

50 才をとっくに過ぎて、大学の授業を体験することが出来たこの機会に感謝します。

教室は各々の机にＰＣがあり、例え、前回休んでいても授業の内容を見る事ができますし、質問等は、ＴＡ（ティーチングアシスタント）さんが学生の隣りにかけつけてサポートしてくれていました。

先生のマイクの声が良く通っていましたし、この様なとても良い環境の中で、学生さん達は静かに、真剣に取り組んでおられました。私の息子はリモート授業がほとんどでしたので、苦労していましたが、やっぱり対面授業ですよね！画面では学べない雰囲気とコミュニケーションがありました。



３次元CAD実習

▼学年：機械工学科　２年
▼教室：Ｊ－７０８
▼教員：星野 実先生

〈授業内容〉

SOLIDWORKS の予備知識

・履歴型の３次元ＣＡＤ
　基礎作成→突起追加→穴を追加

・パラメトリック機能
　※パラメトリック…数を変化させる
　　スケッチ、フィーチャーの寸法変更、形状変化

…感　想…

コンピュータ画像を立体的に編集していく。昔は1つ1つ図面を描いていたものを再構築のボタン1つで、マウスを使って簡単に図面の変更を立体的に作成出来る。二次元図面もパソコン上で（定規不要）数秒で変更可能。正面平面図・側面図から投影図を作る事が出来、仕上がりイメージを作る事が出来る。しかも、その線の変更も可能で強調したい箇所を表現出来る。

平安時代、建築士達は、全て手作業で東寺や神社を造っていたのが…と改めてコンピュータの便利さを思い知らされた。数日間、図面に使う時間を現代なら数分で出来てしまうのか…と、文明の発達に驚嘆した。また一方で、過去の偉大な設計士達は、これを手作業でやっていたという事に凄さを感じてしまう。

これからは何事もパソコン上での仕事が世の中を占めていくと納得した授業だった。

建築環境工学演習

▼学年：建築学科　3年
▼教室：J－701
▼教員：添田 晴生先生

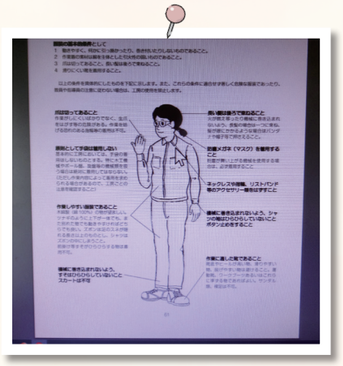
〈授業内容〉

”室内の温度がより最適温度になる建物とはどの様な物か”について設計・制作する為、先生が持参されたサンプル＝パッシブルハウスの模型（1面が窓に見立てたガラス面の箱で中の温度を計る事が出来る模型）が基準になる為、それを使って丁寧に説明されていました。

4人1組の班に分かれ、コンセプトを決め、設計する（パソコンで図面を書く）、模型を作り、実際に温度を計り比較検討する事を目的に授業が進められており、本日は図面を仕上げる事。

もし、早く出来た班は、来週から始まる制作で使用する材料をどうやって調達するかを決めて行動する様指示がありました。今からコーナンへ下見に行っても良いし、ネット発注の場合は先生がやり方を教えて下さるとの事でした。

また、次回からの制作で使用するウッドワーキングエリアでの服装の注意（スカート、サンダル、袖口の広い物はダメ等）や、使い方を間違えると大事故に繋がる機械を使うので充分に気を付けて取り扱う事。何よりも睡眠不足は注意力が低下し、危険度がかなり上がる為、絶対に睡眠不足のまま参加しない様何度も仰っていました。



…感　想…

”2枚ガラスの間に水を入れると夏場はより涼しいのでは？”“屋根に煙突を付けると空気の流れが出来て快適なのでは？”等の仮説の元制作に挑む班もあるとの事でしたが、どの様な模型が出来上がるのか、完成品を見てみたくなりました。

また、各班毎の作業に入った時、ある班が自分たちのやりたい事、試したい事を積極的に先生に伝え、それに対して先生からも熱心なアドバイスがありとても活発な意見交換が行われていました。

講義より、実際に行動し始めると学生達の熱量が一気に上がった様に感じました。

▼2限目

電気機器

▼学年：電気電子工学科　2年
▼教室：J－507
▼教員：民田 太一郎先生

〈授業内容〉

直流機（1）　構成と基本原理

各種モーター

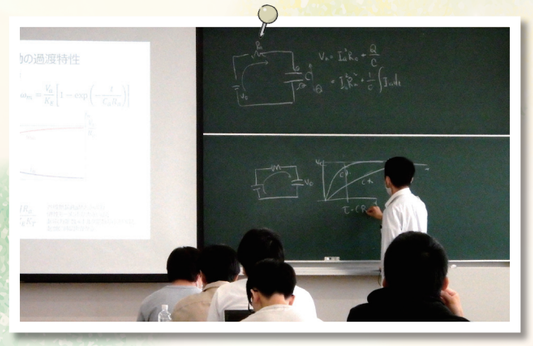
- モーターの原理の説明（本日は直流モーター）が講義されていた。
- モーターの説明だけでなく、QRコードでの補足があり、直流モーターの仕組みの YouTube の案内もあり手厚い内容。
- その後は、問題演習の時間で先生が前で解説で進む。
- 実際にはモーターの損失があり、理論には含まれないことなど、特徴も補足説明。
- フィギュアスケートなど具体例を出しての慣性モーメントのエネルギーなどの説明。

…感　想…

200席ぐらいの教室に50名ぐらいの学生で、ゆったり座れて集中しやすい。後方に座ってもモニターが左右にあり、見えにくいとかはなく、設備にも恵まれている。

私には授業の内容が難しくわかりませんでしたが、先生が丁寧に一生懸命に講義されていたのが印象的でした。

最後に提出課題もあり、理系の大学生は勉強されているなぁとみせて頂いておりました。



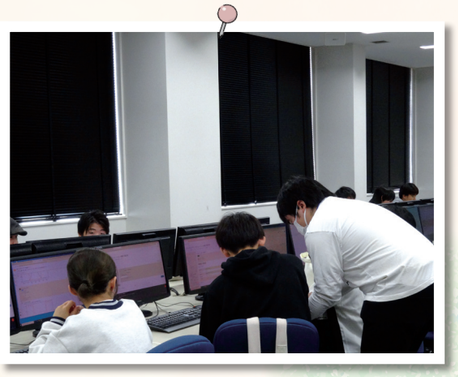
コンピュータ・シミュレーション

▼学年：基礎理工学科　２年
▼教室：Ｊ－７０２
▼教員：柳田 達雄先生

〈授業内容〉

はじめに Python 言語のライブラリである NumPy と SciPy の説明があり、行列の要素ごとの積について学びました。波動関数や離散化、差分近似、シューレディンガーの猫など初めて聞く言葉も多く教わりました。

本日の授業のメインはトンネル効果でした。トンネル効果とは、量子力学の古典的解釈では物質は壁に当たると戻ってくるが、一定の確率で壁を通り抜けてしまう現象です。学生のみなさんはパソコンに正確に入力し井戸型ポテンシャルに山型の曲線を出していました。先生の「必要な時に使用できる能力を身に付ける」という言葉が印象的でした。



…感　想…

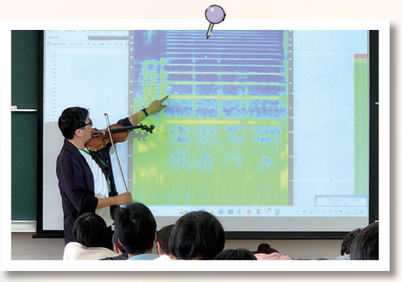
授業でわからない所を学生同士で教え合い、協力し学びを深めている姿がとても良かったです。先生と TA の方も学生に寄り添いながら最後まで教えておられました。

コンピュータで文化を測る

▼学年：情報工学科・通信工学科　１年
▼教室：Ｊ－３０２
▼教員：小森 政嗣先生

〈授業内容〉

- 情報工学科開設以来ずっと設けられている一般教養科目。
- 元の講座名は『コンピュータで古代を探究する』であったが、改称された。
- 掛け算と足し算ができれば解る内容（の筈）である。



…感　想…

一般教養だし、掛け算足し算だけなら数学が苦手でも大丈夫…か…な…（汗）しかもこの日の授業は『音楽を測る』というテーマ。長年趣味で楽器を続けてきたのなら何とかなるのかもなどと、淡い期待を寄せていた。ところが、いざ講義を聴いてみると殆ど理解できない。咀嚼しようにも対象物が大き過ぎて口に入らないという感じである。そして、数式が出現した段階で倒れそうになった。

ただ、授業の雰囲気は非常に愉しく、惹き付けられた。授業開始後直ぐに、ハイドン作曲 交響曲第 94 番『驚愕』（通称『びっくりシンフォニー』）を歌ってご紹介くださり、掴みはＯＫ！演習を課される際も、解をルート２という比較的解り易いものに設定してくださるご配慮もあり、学生さんにとっては計算も容易だったようだ。

そして本日のサプライズ！何と、先生がバイオリンを用いてスペクトログラムに波形を反映させることで、目で見て解るように解説くださったのだ。通常奏法から倍音を出す奏法（フラジオレット）に変化させてくださったり、その後、声を出して「あ」と「い」の違いを『見せて』いただけたり。他にも『あゝ人生に涙あり（水戸黄門のテーマ）』や『帝国のマーチ（ダース・ベイダーのテーマ）』など誰もが耳にしたことのある有名曲を流してくださり、学生さんも大いに興味を唆られたのではと感じた。

また、ＣＤのサンプリング周波数が 44100Hz であることや記録が 22050Hz まで可能であることも、先生の解説で初めて知った次第である。演奏の参考音源としてよく利用しているものなのに、仕組みについては何も知らなかった。

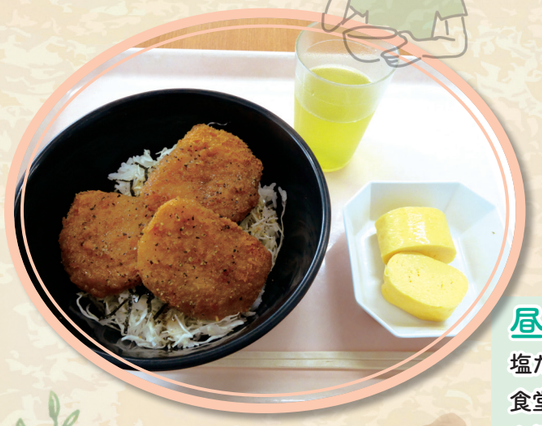
この授業での一番の収穫は、バイオリン属の倍音の出し方が自分の想像と全く違うものであると教わったことだ。ハープを撥っていたのだが、バイオリンのように弦に軽く触れるだけでは倍音は鳴らせない。

幼少時から音楽と関わってきていても、音色の違いが生じる理屈などこれまで考えたこともなかった。だが、こうして思いも寄らなかった角度から自分が好きで続けてきた音楽について探究することに、ほんの少しの時間であっても触れる機会をいただけたのは幸せだと思った。

この日の聴講は自分にとって実に意味深いものとなった。今後は様々な方向からものごとを見るように心掛け、少しずつでも知識を深めていきたい。

昼　食

▼Z号館（オリーブ　2階）



Let's have LUNCH together!

昼食は生協の学食を堪能しました。ボリューム満点の塩だれカツ丼とだし巻き玉子が500円以下は驚きです。食堂内は多くの学生で賑わっていました。たっぷり栄養を摂って元気に学んで欲しいと思います。

生協にてカレーライス（中）とほうれん草のゴマ和えの小鉢をいただきました。カレーは甘口よりの中辛かな？位の辛さでしたが、コクやトロミがありおいしかったです。ゴマ和えは調度良い濃さのとても食べやすい味付けでこちらもおいしかったです。（中）でもお腹一杯になりました。ごちそうさまでした。

【B定食】
450円

▲J号館1階食堂

四條畷キャンパス

参加者　十河、前田真、生田、市村、松山

▼1限目

映像制作実習

▼学年：デジタルゲーム学科・ゲーム＆メディア学科合併　3年
▼教室：6205
▼教員：由良 泰人先生、森田 浩司先生

〈授業内容〉

『バシッと決まった映像をとるために気を付けること』

デジタルゲーム学科とゲーム＆メディア学科合併の映像制作実習を見学させていただきました。

最初に1グループ8人ほどの24グループに班分けされ、グループに一台ずつのカメラを配付される。

まずは配付されたカメラの確認

①電源の入れ方
②映像がカメラモニターに写し出されているか
③記録媒体が入っているか
④録画してみる（試し撮り）
⑤試し撮りしたものを再生して、映像・音が録画録音されているかなど。

配られた機材のタイプがそれぞれ違うので、電源や録画ボタン、記録媒体の位置を探すのに少し時間のかかるグループもありました。SA（スチューデントアシスタント）の方が学生さんのサポートをされていたので、どのグループも問題なく進められた様子。

プロの現場でも様々な機材を使っているので、メーカーの特徴もあるがどんな機材にも慣れていくしかないとのこと。

カメラとスマートフォンの違い

カメラとスマートフォンの1番違いは“レンズの大きさ“。レンズが大きいと何がいいのか？光を記録するのがカメラで、レンズが大きいとその分たくさんの光を記録できる。

また、スマートフォンの映像は加工処理されているためそのまま使うには綺麗だけれど、編集を加えたりすると画質が悪くなってしまう。仕事として考えたらカメラで撮影し、あとで映像編集をする方が良い。基本となる撮影はとても大事である。

WB（ホワイトバランス）の設定

まず、撮影の前に必ず確認しなければならないことはWB（ホワイトバランス）の設定。

光の色合いを補正して白を白く写すために調整。しかし、決して真っ白でなくてもいい。映像の目的やシーンに合わせて設定すれば良い。

…感　想…

想像していた以上に大勢の学生さんが受講されていて驚きました！実際にプロ仕様の高価なカメラに触れながらの実習なので、2限続けての長い授業でも飽きることなくあっという間ではないでしょうか。スマートフォンでの撮影はしたことがあっても、本格的なカメラの扱いは初めての学生さんも多かったと思います。基本的な操作からの説明をされていたのでとても分かりやすかったです。

個人的にもカメラのスキルをあげたいと思っていたので興味深く参加いたしました。帰宅後、早速、カメラを触りながら復習をしました♪

由良先生の「誰にでも出来ることにお金は発生しない。それ以上のことをしないと仕事としては成り立たない。」という言葉が印象的でした。（自身の仕事の取り組み方に反省…）

離れて暮らす息子がどんな風に通学し、どんな環境で、どの様な授業を受けているのかを少し想像することができたので参加できてよかったです。見学させていただきありがとうございました。

GUIデザイン演習

▼学年：情報学科　３年
▼教室：２２１１
▼教員：大西 克彦先生

〈授業内容〉
～画像の表示～
前回の課題振り返り　サンプルアプリの作成
画像をリソースとして登録

…感　想…

2023年10月7日(土)第3回役員会で大西先生とはお会いしており懇親会でも大学の様子や息子の課題で会話が弾んだ事もあり、親近感を感じて対面授業に参加させて頂きました。授業では、大西先生が2台のノートパソコンを利用し対面授業と遠隔参加者にサンプルアプリの作成方法を丁寧に説明されておりました。内容は非常に難解でしたが、最後列から学生の様子を見ておりましたが、全員パソコンに向かって黙々と課題に取り組んでおりました。

9:30～10:00　課題の詳細説明。10:00～課題の実施で、大西先生が一人一人の学生に声を掛けコミュニケーションを取られ、非常に良い授業と思いました。また大西先生を補助するＴＡの方も各学生をフォローされており、質問のある学生もどんどん手を挙げており、難解な課題にチャレンジしている学生は立派だと思いました。一日中パソコンを利用しているので肩こりが心配です。

※提案ですが、授業中に腰痛体操や肩こり防止の体操など組み入れてはいかがでしょうか？会社では朝礼でラジオ体操、腰痛体操、猫背防止体操など複数の体操をしております。ご参考までに。

▼２限目

生体機能代行装置学２

▼学年：医療科学科　３年
▼教室：８１０６
▼教員：海本 浩一先生

〈授業内容〉
生体機能代行装置学２

生体の臓器、器官が機能不全となった場合に、その機能を（一部でも）代行するのが生体機能代行装置である。臓器なら人工臓器とも言われる。本授業では腎臓の機能を代行する透析療法について概説した。まず、生体の腎臓機能について簡単に説明し、続いて腎機能不全の病態（急性腎不全、慢性腎不全）と臨床症状、その後、透析療法の概論を行った。透析療法では、腎不全患者と機械とのインターフェースとなるダイアライザ（透析器）について説明を行った。ダイアライザも医用材料の一つで、医用材料ならば３つの条件が揃わなくてはならない。すなわち①目的機能性、②生体安全性、③生体適合性である。今後、この３つの条件について学んでいく。

…感　想…

医療科学科の授業は、大学院生１名のＴＡ（ティーチングアシスタント）がいる中でする面接授業でした。前回の授業の復習から始まり海本先生の一部道徳の授業でした。道徳といっても大学で研究していくうえで当たり前のことをおっしゃっていました。レポートを遅れて提出するときは、しれっと提出するのではなくちゃんと「遅れた理由」を伝える事と遅れて提出することの「謝罪」を伝えて提出するものだよ！というものでした。社会に出れば当然と思いました。

授業は、臨床工学技士のための授業のようなので当初一般人には難しく専門用語が並ぶ非常にちんぷんかんぷんの内容でした。「ダイヤライザー？」すかさずググりました。本日は「透析」のお話でした。授業の専門性からして機能性・安全性・適合性が重要視されるということでした。言葉だけ聞いても分からないので分かりやすい比喩や咀嚼した言葉で授業されていたことが印象的でした。

3Dゲームプログラミング・実習

▼学年：ゲーム＆メディア学科・デジタルゲーム学科合併　２年
▼教室：２１０７
▼教員：上善 恒雄先生、沼田 哲史先生、森 善龍先生

〈授業内容〉
タワーオフェンスゲームを開発する実習授業です。

敵の砲台からの攻撃をかいくぐってゴールに辿り着くという種類のゲームを、基本共通仕様をベースに、学生各自が独自のデザインや動作の工夫も含めて開発していきます。

１・２限授業で、今回は砲台の回転や往復動作や速度調整を行う部分に焦点をあて、１限目に説明があり、２限目に学生が自分自身でプログラミングを行っているところに参加しました。

次回以降の授業ではプログラミングに必要な数学の授業も予定されています。

…感　想…

ゲームプログラムを行う際の基礎となるプログラミングを行われておりました。

先生の解説では、細かな注意点などもありました。

実際の実習では、質問のしやすい環境であり、友人との助け合いも見受けられ学生の皆さんが真面目に取り組まれておりました。

実習中も、先生からは、プログラミングを行う際のアドバイス等もあり、今後に役立ててほしいと思いました。

ゲームプログラムに関しては、ゲーム作成の基礎となる部分になりますので、しっかりと取り組んでいき、未来のゲームクリエイターになってほしいと思います。

昼　食

▼3号館（生協食堂　1階）

今回は、ササミチーズタルタルを頂きました。安く、おいしく頂きました。

昨年、キャンパス探訪でお伺いした時よりも友人同士で仲良く昼食をとっているところを見るとコロナが明けてよかったと思いました。

今回頂いたササミチーズタルタルもそうでしたがおかずによっては、お手数ですが、何等分かに切り分けて頂けると食べやすいと思いました。

【健康スポーツ科学科３年生】
橋本くん、原田くん、堀くん、岩江くん、
池多くん、田中くん、藤田くん

【理学療法学科２年生】
三浦くん、呉原くん、土井くん、
泉谷くん、大下くん、東本くん

【健康スポーツ科学科１年生】
白川くん、山本くん

▲6号館（エル・スエヒロ　1階）

学生に要望を聞きました。生協については、安くて美味しいが麺類丼物が欲しいとの事。
エルスエヒロについては、値段も味も申し分無いとの事。
私達は生協で食べましたが、本当に安くて美味しかったです。

【昼食後、寝屋川班と合流しました】

先端マルチメディア合同研究所（JIAMS）の見学

CG スタジオ・映像編集スタジオ・音像編集スタジオ・モーションキャプチャースタジオの４施設の見学をさせて頂きました。各施設にはプロ仕様の設備が整っており、所属キャンパスに関係なく、学びたいと思った学生は誰でも利用することができ、自主的に学べる場所として活用されています。

CG スタジオ

研究員の北川さんが案内してくださいました。

室内には専用パソコンや3DCGソフトウェア、技術書がたくさん揃えられていました。プロジェクションマッピングなどの高度なCG制作・編集作業ができるそうです。

映像編集スタジオ

研究員の久世さんが案内してくださいました。高解像度カメラや高性能な編集設備、映像合成に使われるクロマキースクリーンが備わっており、ネット配信やプロの映像制作技術を学べる環境が整っています。実際に映像合成の体験をさせていただきました。

音像編集スタジオ

研究員の石井さんが案内してくださいました。

映画などの音は、現場の音だけではなく実はスタジオで収録した効果音も使っていて、映像編集スタジオやCGスタジオで制作した映像に、このスタジオで作った音を加えて、作品として完成させているそうです。

モーションキャプチャースタジオ

研究員の久世さんが映像編集スタジオに続いて案内してくださいました。天井と床に 24 台の専用カメラが設置されており、反射マーカーを付けた人間の動きを精密に計測して、３Dモデルに反映することができます。実際にこのスタジオで計測して作った３D映像作品やゲーム、アニメーションの紹介がありました。

コロナ禍前まではプロジェクションマッピングなどのプロジェクトを産学連携で行い、希望する学生にもプロジェクトに参加してもらう機会があったとの事。参加学生した学生にとっては、とても良い経験になったと思います。

今後、再びこのようなプロジェクトが増えていき、学生がいろいろな経験を積む機会が増えると良いなと思います。

プロ仕様の機材・ツールで学びたいときにいつでも先端技術を学べる、というとても良い環境が整っており、研究員の皆さんの手厚いサポート受けることもできるので、いたれりつくせりの環境です。

ぜひ、この施設をどんどん活用して技術の向上に励んで頂いて、未来のクリエイターになってほしいと思います。

三文の徳食堂

後援会と大学が協力し、本年度は授業日全期間を通してオープンしています。
（祝日の授業日もオープン）
100 円でボリューム感もあり、栄養の取れる朝食メニューです。
利用者からは、味も美味しい、週２～５回来ている、自宅生も多数で喜ばれていました。

三文の徳食堂が、学生の食育にも役立てばと思います。
保護者の皆さまからも利用するよう勧めていただき、抜きがちな朝食習慣をつけ
授業に向かっていって欲しいです。

インタビューにご協力いただきました学生さん、ありがとうございました。

後期　開店期間・時間

9/18（月）～12/26（火）
2024 年　1/ 9（火）～ 1 /15（月）

寝屋川キャンパス
Ｊ号館１階食堂
ＡＭ８：30～10：00

四條畷キャンパス
６号館１階食堂
ＡＭ９：00～10：00

父母の声

コロナ禍に学生を抱えた母の話

通信工学科　卒業生 母

私は、2023 年の春に卒業した息子を持つ母です。息子が３年に上がる頃コロナウイルスが流行し始め、それまで順調だった学生生活が一変しました。中でも大きく変わったのはリモート授業でした。そのやり方に全く馴染めない息子は、卒業が出来るかも不安になり自信をなくし、退学も選択肢にあった中、最終的には休学の道を選びましたが、結局は５年で卒業する事ができました。学生生活の後半は親子共に本当に辛かったです。私自身もコロナ禍は仕事も　順調には行かず、経済的に精神的に疲弊しておりました。きっと多くの方もこの未曾有の事態に直面され私のように混乱されたことでしょう。

今は卒業できた事でお世話になった方々へ感謝しかありません。まず、こちらの大学へ導いて下さった今でも心の支えである高校の恩師、大学入学当時から相談に乗って下さった先生方、そして研究室の先生には最後の最後までご指導頂き、親子共に諦めない気持ちを持ち続ける事を教わり、今があります。

過保護と思われるかも知れませんが、まだ在学中の保護者様、大学には親は関係ないと思っていないで学生生活や進路など、気になる事が出てきたら是非相談してみて下さい。立ち止まる事や一歩踏み出す事の、良ききっかけになるかもしれません。親子で思いをぶつけ合い色々な事がありましたが、今ではいい勉強になったと大変感謝しております。ありがとうございました。

親子の会話

基礎理工学科　１年 母

後援会総会と学科別の懇談会に参加しました。総会では保護者の方々が様々な思いを発言され、それに対して役員のみなさんが丁寧に答えておられたのが印象的でした。コロナ禍で控えていた行事も少しずつ再開される様で安心です。朝食を抜きがちな学生にしっかり食べて欲しいという思いから始まった100円朝食『三文の徳』。費用の一部を後援会が支援していると知り、大学生活が円滑にいって欲しいという共通の思いを感じました。

学科別の懇親会では今年の「卵落としコンテスト」の動画を見せていただきました。各グループで知識や技能を組み合わせて生卵を割らずに落下させる、とてもユニークで興味深い内容でした。

最後に最新設備のキャンパスを見学しながら、先輩保護者の方に大学生活や進路について伺ったり、同学年の保護者の方々と情報交換をしたりと大変有意義な時間を過ごしました。いただいた情報を元に親子の会話もふくらみます。入学当初は初めての手続きも多く戸惑いもあったようですが、現在は順調に大学生活を満喫しているそうです。これからも初めての事にも臆する事なく、どんどんチャレンジして欲しい。仲間と今しかできない経験を積み重ねて欲しい。心を育みながら学びを深めて欲しい。今後の後援会行事と親子の会話が楽しみです。

3年間のコロナ禍を乗り越えての新生活

電子機械工学科　１年 母

高校生活の全てをコロナ禍で過ごし、この春、子供は大学生となりました。

親世代とは全く違う生活を経て、子供は大学に何を求めて入学したのでしょうか。

世代間ギャップもさることながら、多感な時期を制約だらけの中で過ごした彼。

社会のあり方も大きく変わり、今の時代に、どのように見守ればいいのか正解が見えてこない。

そんな中、６月の後援会総会の後、学科別懇談会に参加し、子供がお世話になっている先生方と話し、実際に学んでいく環境を見せていただきました。

そこでは、停滞感や閉塞感ばかりであった直前までの３年間を感じさせない、常に進化・前進し続けている大学を肌で感じることが出来ました。

このような環境を与えていただき、学問に触れることができて子供はきっと自身の将来への希望を見つけ出してくれるのではないか、と安心感を抱きました。

まだまだ入学したばかり、大学生になったばかり。

過大な期待は不要ではありますが、常に前進してるこの大学で、しっかりと自分の足で前に進んでいってくれることを願います。

電通大の担任制

電子機械工学科　1年 母

大学生活の不安などを解決するため入学して間もないころ息子が担任の先生にお尋ねしました。今後の取り進め方などのアドバイス等を頂き、帰宅後の食事中に「聞いてよかった、解決した。」と嬉しそうに話してくれました。

先生方のお力添え仲間たちと協力できる素晴らしい環境の中無事に大学生活をスタートすることができ、私も安堵いたしました。

夏休み中はずっと昼夜逆転のゲーム三昧の生活を過ごした息子にヤキモキしておりましたが、普段は勉強にも真面目に取り組みクリアーしていく過程の目標を明確に持つことができており学生生活を謳歌しているようです。

皆様にご案内のあった９月の懇談会に参加しました。担任の先生が担当して下さり、成績の話だけでなく資格取得へのアドバイス、日々の勉強で困ったときのフォローがあること、難解である微積の勉強がどのように今後の会社で役立つか、どの程度の学力を養う必要があるのか明確な目的意識をご説明して下さいました。微積の勉強に困っていた息子はモチベーション向上につながりました。また次の機会も是非参加したいと思います。

困ったこと、就職か進学等で悩んだときはまずご相談させて頂ける電通大の担任制は、心強くありがたく思います。

「夏の終わりに」

大学院　2年 母

小中高校生はとうに新学期を迎えているというのに、いつまでもうだるような暑さが続いている。夏バテで動く気力も失せ、最低限の用事を済ませた後はクーラーを効かせた部屋で携帯を弄るしかない日々。そんな時に、X（旧 Twitter）のプッシュ通知が。大学からのようだが、何かあったのかな…なんて思いつつタップしてみると『今年のオープンキャンパスオリジナルグッズはクリアボトル』という告知。写真を見ると何とも涼しげで、シンプルなデザインがまた良い。２色展開されているようだが、受験生でもないというのにどちらを選べばいいのか迷ってしまうほど。

しかし、７月16日に発信してくださっているものが、何故９月１日にやってきたんだろう。Androidの通知の仕組みも何も全く解ってはいないが、もしかしたらボトルが夏の終わりを知らせに来てくれたのだろうか。

映えるメニューに惹き付けられるキッチンカーの賑わいやら学業に部活にと頑張っておられる学生さんたちのご報告、学校の工事の進捗状況まで様々なことが自宅に居ながらにして知ることができるなんて、自分の学生時代には想像も付かなかった。保護者としては、こういった学校絡みの情報を得られることで我が子とのコミュニケーションも円滑化され、非常に有難く嬉しい限りである。丁寧で楽しい数々の発信をこれからも心待ちにしつつ、後期も笑顔で息子を学校に送り出してやりたい。

あなたのデザインで表紙を飾ってください

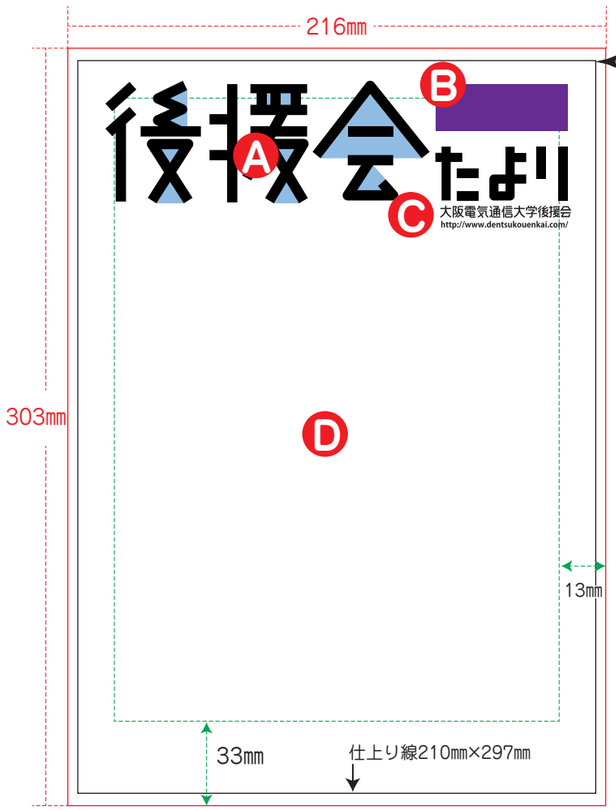
後援会たより No.52春号, No.53秋号

（2024年５月発行）　（2024年10月発行）

表紙デザイン 2024年春号・秋号 を募集します

応募対象者
本学学生
および
保護者

楽しいデザインをお待ちしています！
どしどしご応募ください！



▶サイズ：216 ㎜ × 303 ㎜ フルカラー
（仕上りA4 210 ㎜ ×297 ㎜）

▶応募形式：Illustrator（.ai）
Photoshop（.psd）
画像データ（.jeg）

※いずれの応募形式の際もキャンバスサイズは 216 ㎜ ×303 ㎜ で解像度は 300 ～ 400pixel/inch にしてください。

Photoshop の新規作成画面での例

A．後援会たより

B．2024年 No.52 春　発行日2024年５月１日
2024年 No.53 秋　発行日2024年10月10日

C．大阪電気通信大学後援会
http://www.dentsukouenkai.com/

A～Cは必ず入ります。色は自由です。

D．自由にデザインしてください。
（左右上13 ㎜、下 33 ㎜ の 余白 が必要です）

※未発表のオリジナル作品に限ります

※フォーマットのデータがありますので後援会事務室にお問い合わせください。

あなたのデザインで
表紙を飾ってください♪
楽しいデザイン
お待ちしています!!

応募者には、
寸志を差し上げます！

▶締切：2024 年２月末日

▶お問い合せ･提出先
後援会事務室（Ｐ号館１階105室）
TEL 072－825－7600
E-mail：office@dentsukouenkai.com

大学院への進学の勧め

総合情報学研究科長
登尾　啓史

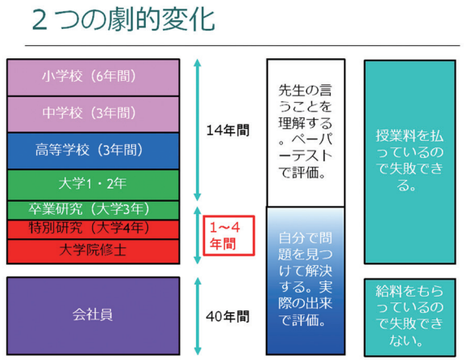
概要

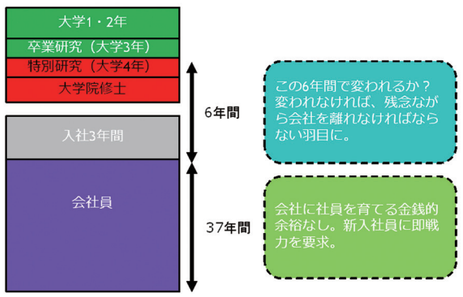
1. 情報工学系のカリキュラムの内容は 40 年前と比べて膨大なものになっている。メディアやネットワークの分野が純増。そして最近、人工知能やデータサイエンスの分野も純増。したがって、学部の４年間では、即戦力人材創出の観点では消化不良を起こす可能性が高い。研究開発（人は失敗して、はじめて物事を習得する）も含めると、大学４年に大学院修士２年も合わせた６年一貫教育が合理的である。
2. 高い専門性が活かせる大学院生の生涯年収は大学生のそれに比べて 4000 万円以上高い。60 歳を超えても代替人材がいないので、定年なく高収入が継続できる。特に女子学生では、この傾向が顕著。

この 40 年間で、情報工学系で習得すべき知識や技術は質と量とも著しく増加した。一方、会社は競争にさらされ、じっくり人材を育てる余裕を失い、即戦力人材の供給を大学に求める。スマホに代表される小型・専用ＩＴシステム（ＩｏＴ、小型チップ、専用ＯＳ）の技術、さらにはネットゲームに代表される情報ネットワークやメディア（CG，VR，アニメーションなど）のソフトウエアやハードウエアの開発は、今やボーダレス（コストパフォーマンスが最高の国や地域で生産される）なので、会社も妥協する余地がない。

正直に言うと、要求される知識や技術、およびそれに付随した経験（実際に、会社で製作するようなＩＴシステムを作ることで、技術・知識を実体験）の習得は、学部４年間では不可能だと思う。片や会社にも、それを入社３年間程度、給料を支払いながら人をやさしく教育する余裕はない。会社が即戦力人材を求める所以である。すなわち、図１（総合情報学部情報学科のカリキュラムを参考）のような構造が、今の情報工学系には存在する。

ちなみに、1982 年情報工学科卒（筆者）の成績表（図2）において当時の科目を眺めると、オペレーティングシステム、計算機アーキテクチャ、回路設計、情報理論や離散数学などの科目は存在する一方、組込みシステム、情報ネットワーク、情報メディア、人工知能、機械学習、ビッグデータやデータサイエンスといった科目は存在しない。これらの科目がこの 40 年間に新設され、主としてＳｏＣ（System-on-a-chip）やＩｏＴ（Internet of Things）、ひいてはスマホで何でもできる情報化社会を作り上げたのである。最近は、人工知能や機械学習、chatGPT などの生成系ＡＩの使い方など、情報工学系で学習しなければならない内容は拡大の一途にある。





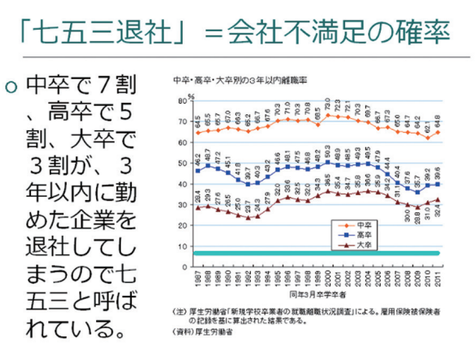


図１　学生に求める技術や知識は大学から会社への移行期に追い付いていない。

さらに、これらの上流に「ゲーム」や「アニメ」のような情報文理融合系の分野が広がっているのである。大阪電気通信大学では他大学と異なり、それらを分離して学科やカリキュラムを整理しているので、他大学に比べて消化不良を起こす可能性は少ない。それでも前述のありさまである。工学部の基幹学科である“機械系”、“電気電子系”、“化学系”、“土木建築系”でも類似のことは起ってはいるものの、情報系の学生は直接技術革新の影響を受けたので消化不良を起こしやすいのである。

この 40 年間の進歩が革命的だったことによる当然の帰着である。その上、最近、ソフトウエア（機械学習･データマイニング、自動決済、宅配流通効率化など）やハードウエア（電気自動車、自動ナビゲーション、人型ロボットなど）の知能化が際限なく進み、それに要する計算パワー（GPGPU、グラフィックスボード､バイオコンピューティングなど)もとてつもなく増大している。このような時代に対応するには、学部４年制でなく学部４年に大学院修士２年を加えた６年制一貫教育をとるべきである｡これが、私が「情報系学生に大学院に進学を勧める」理由である。

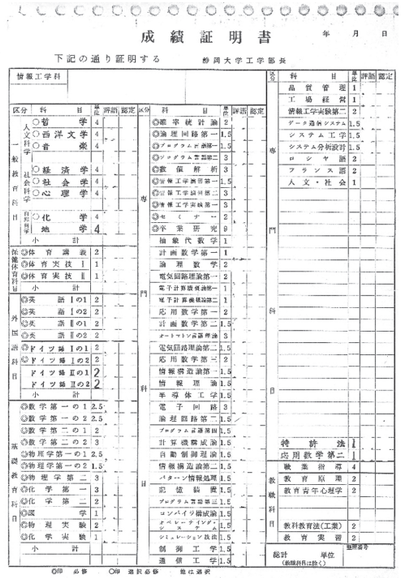
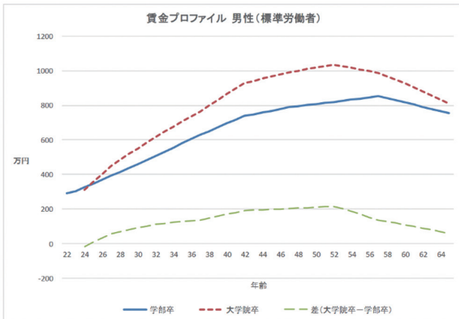


図２　1982 年度（40 年前）の情報工学科標準カリキュラム。

図表４　男性標準労働者の賃金プロファイル（正規労働者）



図表５　女性標準労働者の賃金プロファイル（正規労働者）

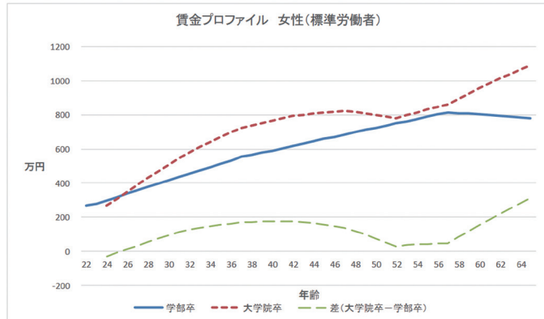


図３　2014 年度（8 年前）の学籍別給与の推移（男女別）[1].

最後に、世の中では、正規と非正規の雇用を軸とした“賃金格差”の問題が取りざたされているが、専門性を高めて替えの利かない人材に自分自身が育つことが、この賃金格差問題を免れる近道である。事実として、内閣府経済社会総合研究所が 2014 年に発表した大学院卒の賃金プレミアムによると、男性の場合、学部卒の生涯賃金収入は２億 9163 万円で大学院卒のそれは３億 4009 万円となり、差は 4846 万円である。一方、女性の場合は、学部卒の生涯賃金収入は２億 6685 万円で大学院卒のそれは３億 1019 万円となり、差は 4334 万円になる [1]（図3)。

そして、毎年公表されている厚生労働省　令和４年（2022 年度）賃金構造基本統計調査学籍・性・年齢階級別賃金調査では、給与の額は 55 歳を境に激しく腰折れしているが、その差は 2014 年度と比べむしろ拡大しているように見える（図4）[2]。

この差 4000 万円超を生むのは２年間の修士授業料約 100 万 / 年・生活費約 100 万 / 年の約 400 万円である。このことから、私には修士課程へ進学しないことは、登山に例えると「せっかく９合目まで頑張っ

第３図　学歴、性、年齢階級別賃金

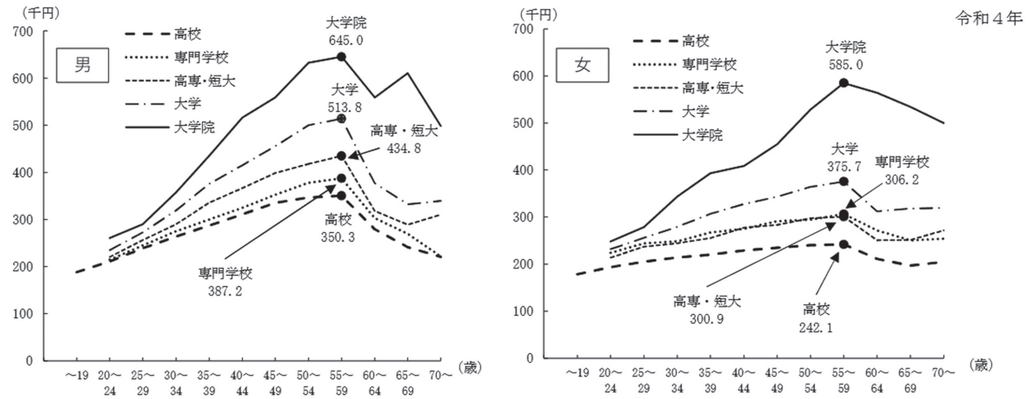


図４　2022 年度（昨年度）の学籍別給与の推移（男女別）[2].

たのに山頂を見ないで下山する」ように見えてしまうのである（図5）。高校3年、大学4年に大学院2年の計9年を見たとき、最後の2年間（9合目から山頂）が非常に小さく見えるのである。賃金プレミアムで見ると、大学院2年間のコストパフォーマンスが最高なのである。しかも 2024 年度のどこかで、「在学中の大学院の授業料を国が立替え、大学院修了後の所得に応じて返還していく「授業料後払い」制度 [3]」が新設されることは文部科学省から既に通達されている。国も遅ればせながら科学立国日本に回帰するようである。

　最後にもう一度、私が情報工学系大学院への進学を勧める理由をまとめる。

学歴を登山に例えると

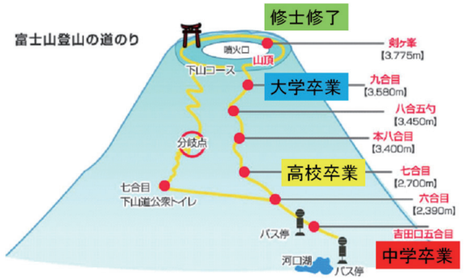


図５　せっかく９合目まで頑張ったのに山頂を見ないで下山する様子。

- 情報工学系において習得しなければならない技術・知識が質量ともに増加
- 国際化・合理化により会社に余裕がなくなり新卒に即戦力を要求
- 社会の効率化により専門性の違いによる収入格差が生じた

参考文献

[1]大学院卒の賃金プレミアム―マイクロデータによる年齢ー賃金プロファイルの分析―柿澤寿信、平尾智隆、松繁寿和 山﨑泉、乾友彦 June 2014　内閣府 https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11513838/www.esri.go.jp/jp/archive/e_dis/e_dis310/e_dis310.pdf

[2]厚生労働省　令和４年賃金構造基本統計調査
https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2022/dl/03.pdf

[3] 文部科学省ホームページ内「奨学金事業の充実」（「こども未来戦略方針」の「加速化プラン」等に基づく高度教育費の負担軽減策について（令和6年度～））
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougakukin/main.htm

2023年度就職活動について

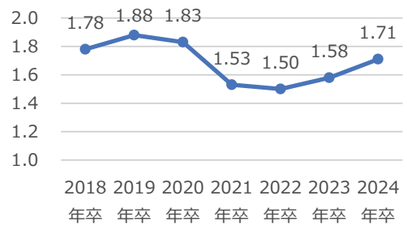
就職部長　土田　修

平素より就職支援にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本稿では、2024 年卒の就職動向と昨今の就職活動の特徴についてお伝えいたします。

1．2024年卒の就職動向（2023 年８月末時点）

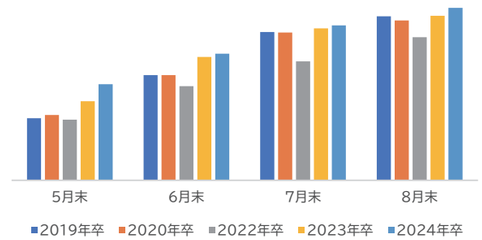
就職情報会社の調査によれば、2024 年卒の大卒求人倍率は 1.71 と前年から 0.13 ポイント上昇し、企業の採用意欲は堅調に回復しており、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。
本寄稿時点（８月末）の本学の学生の進路内定状況を見ると、前年度を上回るペースで進捗しており、早期に内定を取得する学生の割合が増加しています。

大卒求人倍率の推移



出所：リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

本学の学生の進路内定状況の推移



背景には、採用計画数を増やした企業が多いということ以外に、説明会の実施や採用選考にオンラインを活用することにより、採用プロセスが効率化されたことが挙げられます。
早期に内定を得た学生の中には、「内定を頂いている企業に就職するかどうか悩んでいる」「内定を得ることができたが、承諾するかどうか現時点では決めかねている」など、進路の確定に迷う様子も見受けられました。
企業は、内定を出す応募者に対して入社する意思があるかどうか確認するため、「内定承諾書」の提出を求めることが通例です。その際、提出期限が設定され、その時点で進行中もしくはこれから受ける予定の就職活動の中止するよう働きかけられることがあります。万一、半ば強制的に終了を迫られるような行為（いわゆる“オワハラ”）があった場合は、速やかに就職部へ報告するよう促しています。

2．昨今の就職活動の特徴

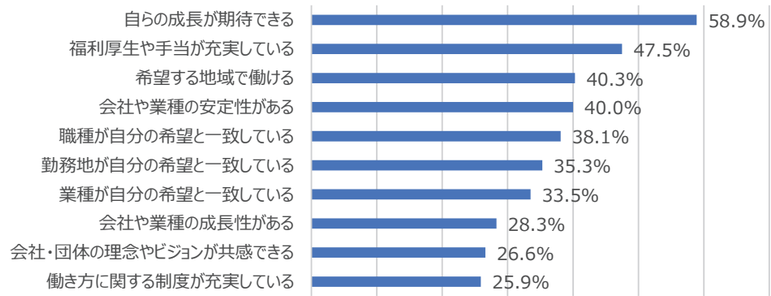
少子化が加速する中、企業の人手不足は慢性化しており、学生優位の売り手市場になっています。
学生は就職情報会社のナビサイトなどから手軽にエントリーできるため、人気企業に応募が集中する傾向があり、募集しても学生が集まらないという悩みを抱える企業が増加しています。
採用選考の一般的な手段として、項目数や文字数が多いエントリーシートの作成に加えて、ＳＰＩなどの適性検査の受検や、オンラインもしくは対面による複数回の面接があるため、新卒採用人数が増加しているとはいうものの、学生の就職活動が楽になったということではありません。
３年生夏の企業の就業体験（従来のインターンシップ）プログラムが事実上のスタートとなり、どの学生も不安を抱えながら就職活動に取り組んでいます。
2024 年卒の傾向として、規模や業界を問わずあらゆる企業の選考が早期化したことが挙げられます。
以前は流通業やＩＴ企業、外資系企業などが早期に選考を行っていましたが、景気回復に伴い採用数を増やした企業が、「早く動かなければ人材を確保できないのではないか」と危機感を強めたことがその要因です。
就職活動の方法についても、新たなサービスを利用する学生が増加しています。
例えば、「スカウト（オファー型）サービス」とは、学生があらかじめ記入したプロフィールを見て、企業側から採用したい学生に個別メッセージを送り、選考のオファーが届くというものです。
また、「新卒エージェントサービス」とは、学生が登録すると専任のキャリアアドバイザー（エージェント）がつき、求人の案内や面接対策などのサポートを受けることができるというものです。
「企業側からアプローチがある」「エージェントから求人が紹介される」など便利な面もありますが、利用にあたっては就職活

動の軸を定め、十分な事前準備が必要です。
早い段階から学生との接点を増やそうとする企業の動きが活発化したものの、計画通りに学生を確保できない企業が多く、採用活動が長期化しており、企業・学生の双方に対して早期化、長期化の影響が及んでいます。

3．学生の志向の変化

就職情報会社による 2023 年卒の就職先への応募基準の調査結果を見ると、先行き不透明な時代の中、「自らの成長が期待できる」を基準とする学生が最も多くなっています。
また、「福利厚生や手当が充実している」「希望する地域で働ける」「会社や業種の安定性がある」といった回答が多いのは、学生の安定志向を反映しているものと思われます。
企業の側もこのような学生の志向の変化に注目し、「入社後の研修制度を充実する」「初任給を上げて待遇を改善する」「勤務地希望を取り、入社前に確約する」といった対応をとる企業が増加しています。

2023年卒の採用選考時の応募基準調査（複数回答可・上位10項目）



出所：就職みらい研究所「就職プロセス調査」2023年卒

4．保護者の皆様へのお願い

毎年就職活動シーズンになると就職情報会社から内定率調査の速報が発表されますが、2024 年卒の場合、8月1日時点で8割半ばを超える内定率となっています。
この数値はマイナビ、リクナビといった就職情報サイトに登録している学生の内、就職活動に熱心に取り組んでいる一部の学生の回答によるものであり、全国の学生の実態を表しているものではないことにご注意下さい。
最近の傾向として、業界セミナーや会社説明会への参加者が少なくなってきています。これは就職情報会社や地域の経済団体などが主催する合同説明会だけでなく、学内で開催するイベントにおいても同様です。
コロナ禍で大学生活に大きく制限を受けた学生は、コミュニケーションに苦手意識があり、「説明会に参加しても何を聞けばよいかわからない」といった声があるようです。
また、時間やコストに対する効率性を重視するため、「説明会に参加するより、自分でナビサイトを使って求人を検索したほうが手っ取り早い」と考える学生が多くなっています。
新卒採用における企業の評価ポイントはその人の「ポテンシャル」であり、「どのような人物か」「自社に対してどれくらい熱意をもっているか」「今後の成長が期待できるか」という点を面接での対話で判断するため、自分を開示することが苦手な学生は就職活動で苦戦します。
このような学生に対して、就職部ではこれまでどのような就職活動をされたのか聴き取り、具体的な解決策を提案いたします。
企業の中には内定辞退者が出れば追加募集するところもあり、時期が遅くなるほど大学に直接求人をいただくことが多くなります。
本学では様々なルートの求人情報を活用し、一人ひとりの状況に応じた就職支援を行っておりますので、就職活動でお困りのお子様には、気軽に就職部の窓口に相談してみるようご助言下さい。
保護者の皆様におかれましては、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

就職活動に寄り添うために気をつけていただきたいこと

企業が学生に求めること

説明会で自社のことを十分理解してほしい。不明な点があれば、遠慮なく質問してほしい。

企業選択について自分なりの考えを持ち、選考の際はその理由を具体的に説明してほしい。

1．干渉、強制ではなく、サポートに徹する。
必要以上の干渉は、お子様の自主性や意欲を下げることにつながります。
過度の口出しをしてほしくないが、相談がある時には親身になって聴いてほしいというお子様の声を尊重し、適度な距離感で接して下さい。

2．お子様の可能性を一緒に引き出す。
就職活動で納得のいく結果が出なければ、お子様はストレスを感じてしまいます。「ここがあなたの長所だと思う」といった励ましの言葉をかけて、お子様の可能性を引き出してあげて下さい。

3．身近な社会人の先輩としてアドバイスを心がける。
お子様にとって最も身近な社会人は、保護者の皆様です。ご自身の体験談よりも、お子様自身が社会で働くイメージを広げるきっかけになるようなアドバイスを心がけて下さい。

よく使われる就活用語

合説
「合同企業説明会」の略。複数の企業が集まり、合同で実施する説明会。

個説
「個別企業説明会」の略。単独の企業が実施する説明会。

ES
「エントリーシート」の略。企業に提出する応募書類の一つで、主に経歴や志望動機に関する質問が設定されている。

ガクチカ
「学生時代に力を入れたこと」の略。アルバイトやサークル活動などをテーマにする学生が多いが、アピールする内容がないと悩む学生もいる。

SPI
選考において実施される適性検査の一つ。性格と能力を診断するテスト。

GD(グルディス)
「グループディスカッション」の略。凡そ3～5人のグループで出題された1つの課題に取り組む選考形態の一つ。

お祈り
選考で不合格になること。不採用通知の「今後のご活躍をお祈りしています」という文章が由来。

内々定
10月以前に内定を取得すること。
10月1日以降、正式に「内定」となる。

オワハラ
内定先の企業が学生に対して就活を終えて自社に入社するよう強要すること。

就職活動のニュースや学生間の会話で飛び交う用語です。
（参考資料：リクナビ、マイナビ）

資格学習支援センター

DX推進に向け、従業員のITリテラシー向上のため、ITパスポート試験を活用する企業が年々増加しています。
また、ITパスポート試験の上位試験である基本情報技術者試験は、デジタル人材への登竜門となる国家資格で、ITパスポート試験とともにIT社会を担う人材のための資格として重要度が高まっています。
12月申込の冬期講座の日程をご覧いただき、お子様に両試験への挑戦をご推奨いただきますよう、よろしくお願いいたします。

春期+夏期

人気ランキング

- No.1 ITパスポート試験
- No.2 MOS
- No.3 基本情報技術者試験

資格申込人数

2023 1,094人

昨年対比 123.6%増!

2022 885人

近年、益々注目を高めている「ITパスポート試験」やパソコン関連の「MOS」など、情報系資格の需要が今まで以上に高まっています。
就職活動への第一歩として**資格の取得をぜひ、ご検討ください。**

ITパスポート試験とは…

- **何が学べる？**
  社会で働くうえで**必要なIT入門知識**
- **どんな人が受験？**
  企業で働きたい**すべての人**
- **試験の難易度は？**
  大学生の合格率は**約40%**

- **ITパスポート試験を推奨している企業(例)**
  株式会社ニトリホールディングス
  株式会社サイバーエージェント
  株式会社NTTドコモ
  富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
  富士通株式会社・株式会社日立製作所
  株式会社大塚商会・株式会社ファンケル
  カブドットコム証券株式会社

基本情報技術者試験とは…

★次回募集は2024年4月★

- **何が学べる？**
  企業で働くために必要な**IT基礎知識**
- **どんな人が受験？**
  情報処理について学んでいる学生
  (新卒でIT関連企業に就職した人)
- **試験の難易度は？**
  大学生の合格率は**約25%**

- **合格した卒業生の就職先(例)**
  株式会社DTS
  京セラコミュニケーションシステム株式会社
  株式会社アイ・エス・ビー
  株式会社アイティフォー
  島津システムソリューションズ株式会社
  サイレックス・テクノロジー株式会社
  株式会社エネゲート

2023 冬期講座ラインナップ

◂申込期間▸ 12/4(月)～14(木)

※冬期は四條畷キャンパス対面講座はありません。必要な方にはキャンパス間移動に使える、京阪パスチケットを発行しています。

対面 講座@寝屋川キャンパス	難易度 おススメ学年	受講料 検定料	概要
ITパスポート試験 講座 【3月30日(土)試験】 国家資格	★★☆ 1・2年	39,700円 7,500円 47,200円	社会で働くうえで必要なIT入門知識を問う国家試験。基本情報技術者試験合格を目指す人は必須の試験です。
危険物取扱者試験(乙種第4類) 講座 【4月21日(日)試験】 国家資格	★★☆ 1～3年	15,000円 4,600円 19,600円	危険物の取り扱い、立ち合いに必要な国家資格で、ガソリン・灯油・軽油・エタノール等の引火性液体を取扱う施設や工場の管理をすることができます。
2次元CAD利用技術者試験(2級) 講座 <基礎コースのみ>【2月試験】	★☆☆ 1～3年	4,070円 6,050円 10,120円	設計・製図業務の知識と技術を学ぶことができ、コンピュータを使った設計技術全般についての知識が習得できます。学科によっては本講座を受講し、合格すれば単位修得もできます。
2次元CAD利用技術者試験(2級) 講座 <基礎＋試験コース>【2月試験】	★☆☆ 1～3年	17,180円 6,050円 23,230円	電気・機械・建築業界など幅広い業界で活躍できます。3次元が進むものづくりも、まだまだ2次元図面が広く利用されており知識を持つ人材が必要とされています。

WEB講座@learningBOX	難易度 おススメ学年	受講料 検定料	概要
過去受験者のみ ITパスポート試験 直前講座 【3月試験】 国家資格	★★☆ 1～3年	5,300円 7,500円 12,800円	ITパスポート試験 リベンジのための講座です。3分野のおさえるべきポイントと解説が動画とテスト問題で確認できます。
MOS Word 2019 講座 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません	★☆☆ 1～3年	17,600円 8,580円 26,180円	パソコン資格の定番。文書作成ソフト「Microsoft Word」の操作・理解度を図る試験です。
MOS Excel® 2019 講座 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません	★☆☆ 1～3年	17,600円 8,580円 26,180円	企業が「大学生なら持っていて欲しい資格」NO.1です。表計算ソフト「Microsoft Excel®」の操作・理解度を図る試験です。
MOS PowerPoint® 2019 講座 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません	★☆☆ 1～3年	17,710円 8,580円 26,290円	スライドマスターや配布資料マスターの編集、アニメーションやスライドショーの設定、さまざまな目的に応じてプレゼテーション資料を作成・編集できることを図る試験です。
MOS Word 2019 エキスパート講座 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません	★★☆ 1～3年	18,700円 10,780円 29,480円	文書の管理や編集の制限、スタイルの管理やカスタマイズ、フィールド、フォームコントロールの管理、索引や図表目次の作成・管理など、目的に応じた機能を使いこなせます。
MOS Excel® 2019 エキスパート 講座 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません	★★☆ 1～3年	18,700円 10,780円 29,480円	ブックの管理や入力規則、条件付き書式の設定、高度な関数の利用、ピボットテーブル・グラフを活用したデータ分析や評価など、さまざまなデータ処理を行えるようになります。
MOS Expertコース <Word Expert + Excel® Expert> 【3月3日(日)または3月9日(土)試験】 ※試験日・試験会場は選べません おすすめセット	★★☆ 1～3年	30,800円 21,560円 52,360円	Word・Excel®2つのエキスパート講座が受講できます。試験に合格して、※MOS Expertの称号を手に入れましょう！
SPI対策 講座 【試験なし】	★☆☆ 3年	3,190円 0円 3,190円	多くの企業が採用選考で利用している適性検査です。本講座では、LMS(学習管理システム)を使用し、個人のレベルに合わせた問題が出題されるので、効率の良い学習が可能です。

資格学習支援センター
TEL：072-820-9032
■寝屋川キャンパス A号館1階 就職部内(月～金)
■四條畷キャンパス 1号館1階 就職課内(火・木・金)
■Mail：shikaku@oecu-shikaku.acarevo.co.jp
■窓口対応時間 10:00 ～ 17:00

かなえる、のそばに。 Orico

大阪電気通信大学提携教育ローン

オリコ学費サポートプラン

「学費サポートプラン」は入学金や授業料などの学納金を簡単なお申込み手続きでご利用いただける学校提携の学費分割払い制度です。

実質年率（固定）

3.0%

「学費サポートプラン」の概要

対象費用	：授業料・実験実習科費等の学費
申込者	：保護者等　※保証人は原則不要
申込上限金額	：500万円
申込方法	：Web・郵送での申込（来店不要・全国対応）
学費の振込	：学校指定口座へ入金
必要書類	：学納金納付書・振込依頼書など

「学費サポートプラン」のご案内

（2'25''）

お支払い例

ご返済例［ご利用金額（現金価格）　500,000円　在学期間：1年］　（令和5年9月現在）

お支払いプラン	在学中 分割支払額／回数（期間）	卒業後 分割支払額／回数（期間）	最終月分割支払額	支払総額	総支払回数（期間）
通常返済	12,000円／44回（ヶ月）		641円	528,641円	45回（ヶ月）
ステップアップ返済	1,250円／12回（ヶ月）	12,000円／44回（ヶ月）	641円	543,641円	57回（ヶ月）

※一部繰上返済も可能です（3万円以上）。繰上返済手数料で何度もご利用いただけます。

学費サポートプランなら、追加利用の際もお支払いを1本化できるので安心です。

月々のお支払い額を余裕をもって設定

追加利用しても、月々のお支払い額はそのまま！

月々のお支払い額をなるべく少なく設定

ご利用合計額にあわせて、月々のお支払いを一本化！

1年後期	追加利用 2年後期	追加利用 3年後期	追加利用 4年後期
741,000円	741,000円	741,000円	741,000円
月々 36,000円			
月々 12,000円	月々 18,000円	月々 30,000円	月々 36,000円

お支払い開始 ……→ お支払い完了

返済テーブル表

ご利用合計金額	最低分割支払額				
10万円以上～50万円以下	6,000円	100万円超～150万円以下	18,000円	250万円超～300万円以下	36,000円
50万円超～100万円以下	12,000円	150万円超～200万円以下	24,000円		
		200万円超～250万円以下	30,000円		

※300万円を超える場合の最低支払額についてはホームページをご確認ください。

お申込みの流れ

Webお申込み（審査は原則1日）

- STEP 1　PC・スマホからお申込み
- STEP 2　審査結果をお電話またはメールでご連絡
- STEP 3　お申込み内容の確認電話（省略の場合あり）
- STEP 4　学校へお申込み金額のご連絡
- STEP 5　学校へお申込み金額を入金
- STEP 6　入金手続き完了後、オリコから契約完了通知メールでご案内
- STEP 7　オリコからお客様控えと口座依頼書を送付

お申込み方法

下記ホームページまたは二次元バーコードからお申込ください。

https://www.osakac.ac.jp/

※大阪電気通信大学HOME>キャンパスライフ> 奨学金制度等について>
奨学金・教育ローン>大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」

株式会社オリエントコーポレーション　学費サポートデスク　0120-517-325
（お問合せ時間 9:30～17:30）

大阪電気通信大学
教育ローン利子補給奨学制度についてのご案内

本制度は本学指定の教育ローン「学費サポートプラン」を利用し、学費を納入した学生に対して、経済的支援を行うために設けている大阪電気通信大学独自の奨学制度です。

利用条件

- 本学が提携している金融機関、株式会社オリエントコーポレーションの学費サポートプランを利用して学費納入をされた方を対象。
- 主たる家計支持者一人の年収が給与所得者については支払金額が 841 万円以下、給与所得者以外の者については所得金額が 355 万円以下であること。

支給額

当該年度に支払った学費ローンにかかる利子相当額

給付期間

最短修業年限

手続方法

- 申請は年度ごととなります。
- 対象者には、郵送でご案内します。（2 月中予定）
- 奨学金給付を希望する場合は、大学が指定する期日までに「申請書」、「所得証明書」、「奨学金振り込みを希望する口座の通帳コピー」を学務課奨学金窓口へご提出ください。（2月中予定）

支給方法

3 月末（予定）に指定の口座へお振込みします。

注意事項

- 申請時期に休学されている方は対象外です。
- 退学、除籍となった場合、または奨学生として適当ではないと認められるときは、その資格を取り消し、奨学金を返還いただく場合があります。
- 「学費サポートプラン」の支払いが遅滞している場合は奨学金の支給を行いません。

〈問合わせ先〉

大阪電気通信大学　学務部学務課　奨学金窓口

TEL（直）　072−813−7860

（平　日　9：00～13：00、14：00～17：00）

大学への問い合わせ・キャンパス案内図

学生生活についてのご相談は遠慮なくお申　し出ください。担当部署は次のとおりです。

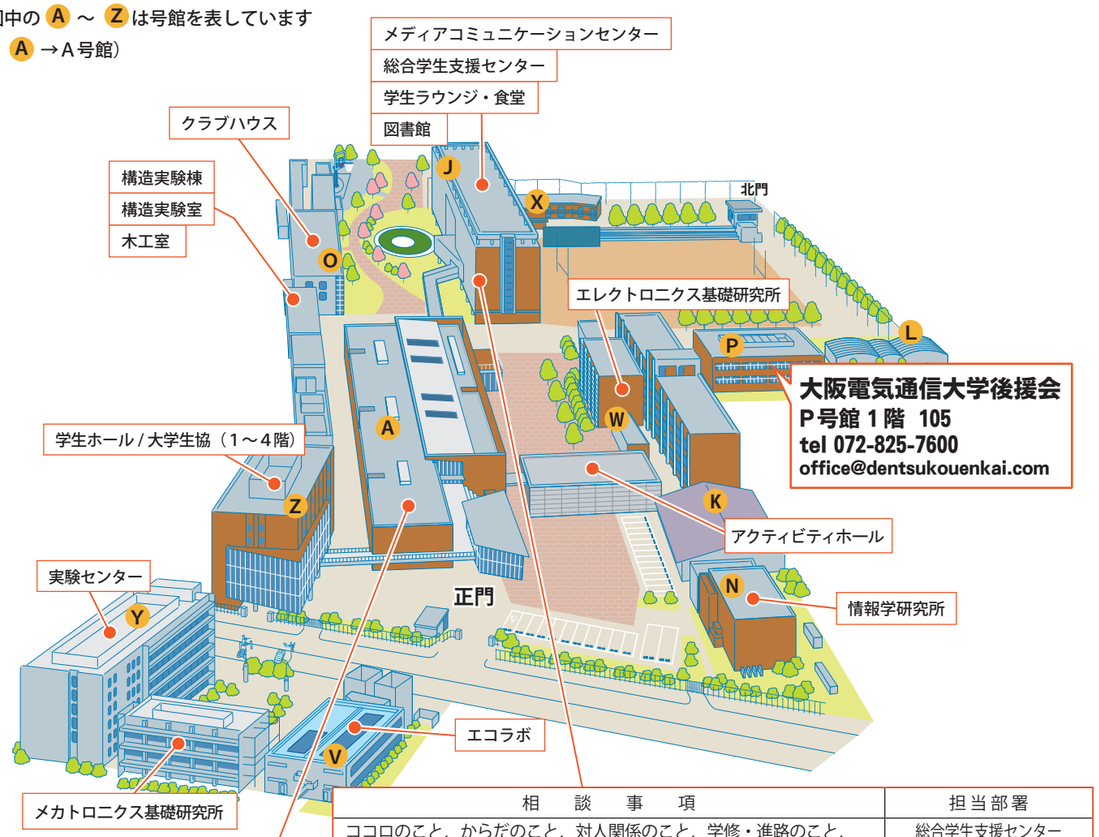
寝屋川キャンパス

〒572-8530 寝屋川市初町１８-８
TEL 072-824-1131 ㈹　FAX 072-824-0014

学科
Ⓔ 電気電子工学科　Ⓗ 電子機械工学科　Ⓙ 機械工学科　Ⓝ 基礎理工学科
Ⓤ 環境科学科　Ⓒ 建築学科　Ⓟ 情報工学科　Ⓕ 通信工学科

大学院
工学研究科　工学専攻
（先端理工学コース，電子通信工学コース，制御機械工学コース，情報工学コース，建築学コース）

図中の Ⓐ ～ Ⓩ は号館を表しています
（ Ⓐ →Ａ号館）



相　談　事　項	担当部署
ココロのこと，からだのこと，対人関係のこと，学修・進路のこと，特に悩みはないけれど，もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター（Ｊ号館６階）

ＯＥＣＵイノベーションスクエア（Ａ号館）

相　談　事　項	担当部署
教育課程，履修登録，授業，試験，成績，進級，卒業，欠席届，転科願，転部願，成績関係の証明書及び卒業証明書の発行，クラブなど課外活動，奨学金制度，下宿，アルバイト，学生の身体状況，休学・退学の願い出，学費延納願，保証人変更届，住所変更届，在学証明書，学割，健康診断証明書の発行	学務課
海外留学（オンラインプログラムを含む）、留学生と在学生との交流	国際交流センター
就　職	寝屋川就職課
課外講座	資格学習支援センター
学　費	会計課
大学院入学試験及び編入学試験	入試課

四條畷キャンパス

〒575-0063 四條畷市清滝 1130-70　TEL 072-876-3317　FAX 072-876-3321

学科
Ⓛ 医療科学科　Ⓨ 理学療法学科　Ⓢ 健康スポーツ科学科
Ⓦ デジタルゲーム学科　Ⓑゲーム＆メディア学科　Ⓣ情報学科

大学院
医療福祉工学研究科　医療福祉工学専攻
総合情報学研究科　総合情報学専攻（デジタルアート・アニメーション学コース，デジタルゲーム学コース，コンピュータサイエンスコース）

図中の 1 ～ 12 は号館を表しています
（ 1 →１号館）

相　談　事　項	担当部署
教育課程，履修登録，授業，試験，成績，進級，卒業，欠席届，転科願，転部願，成績関係の証明書及び卒業証明書の発行，クラブなど課外活動，奨学金制度，下宿，アルバイト，学生の身体状況，休学・退学の願い出，学費延納願，保証人変更届，住所変更届，在学証明書，学割，健康診断証明書の発行	四條畷学務課
海外留学（オンラインプログラムを含む）、留学生と在学生との交流	国際交流センター
就　職	四條畷就職課（１号館）
課外講座	資格学習支援センター（１号館）
ココロのこと，からだのこと，対人関係のこと，学修・進路のこと，特に悩みはないけれど，もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター（１号館）
大学院入学試験及び編入学試験	入試課（寝屋川キャンパス）

大阪電気通信大学後援会規約

（昭和38年7月13日制定）
令和2年5月30日改正

（名　称）
第1条　本会は大阪電気通信大学後援会と称する。
（目　的）
第2条　本会は大阪電気通信大学、同大学院博士課程（前期）（以下「大学」という。）と家庭との連絡を密にし、教学の使命達成に協力するとともに大学の発展向上に寄与することを目的とする。
（事　業）
第3条　本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。
（1）学生の福利厚生に対する援助
（2）学生の就職に対する協力援助
（3）教育上必要な施設及び研究に対する援助
（4）教育上必要な家庭との連絡
（5）その他、本会に必要と認めた事業
2　前項の援助に関する必要事項は別に定める。
第4条　本会は事務局を大阪電気通信大学内におく。
2　本会の事務処理は大学事務局に委嘱することができる。
（支　部）
第5条　本会に支部をおくことができる。
2　支部についての細則は別に定める。
（会　員）
第6条　本会の会員は次のとおりとする。
（1）正会員　大学に在籍する学生の保証人
（2）特別会員　本会の趣旨に賛同し、これに協力援助　を希望する者
（役　員）
第7条　本会に次の役員をおく。
会長1名、副会長2名、会計1名、常任幹事1名、幹事及び学内幹事（大学の教職員の中から選任される役員をいう。）若干名、会計監査2名
（役員の選任）
第8条　本会の役員は総会において選任する。ただし、常任幹事及び学内幹事は、次項に定めるところによる。
2　学内幹事は、副学長、学部長、共通教育機構長、大学事務局学事部長、学務部長、学務部事務部長、就職部長、大学院代表、四條畷事務部長、学務部次長、就職部次長、入試部次長、学事課長及び会長が委嘱する教職員とする。
3　常任幹事は、大学事務局長に委嘱する。
（役員の任期）
第9条　本会の役員の任期は1年とし、留任を妨げない。
（役員の職務）
第10条　役員の職務は次のとおりとする。
（1）会長は本会を代表し、会務を総括する。
（2）副会長は会長を補佐し、会長不在又は事故あるときはその職務を代行する。
（3）常任幹事は会長の委任を受けて、本会の事業の企画立案及び運営にあたる。
（4）幹事及び学内幹事は本会の運営その他、会務推進について意見を具申する。
（5）会計は本会の会計事務を処理する。
（6）　会計監査は本会の会計を監査する。
（顧　問）
第11条　本会は必要に応じて若干名の顧問をおくことができる。
2　顧問は役員会または役員の求めに応じて会の事業への助言または協力を行う。
3　顧問は役員会において選任し、総会において承認を受けるものとする。
4　顧問の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。
5　顧問は総会、役員会に出席するが議決には加わらない。
（相談役）
第12条　本会は必要に応じて若干名の相談役をおくことができる。
2　相談役は役員会または役員の求めに応じて会の事業への助言または協力を行う。
3　相談役は役員会で委嘱する。
4　相談役の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。
5　相談役は特に必要のない限り、総会、役員会へは出席しない。
（総　会）
第13条　定期総会は、年1回開催し、会長が議長となり、議長の開会宣言をもって総会の成立とする。
2　総会では、事業計画、予算、決算、役員の選任及びその他必要事項についての承認を受けるものとする。
3　会長が必要と認めたとき、又は会員の5分の1以上の請求があったときは、臨時総会を開くものとし、会長が議長となる。
4　議決は、出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長がこれを決する。
5　災害、感染症の流行等で総会が開催できない場合は、前年度役員が第2項に定める事項を決定する
（役員会）
第14条　役員会は必要に応じ随時開催し、事業計画の具体的推進について審議する。
（収　入）
第15条　本会の収入は、会費及びその他の寄付金をもって充当する。
2　大学各学部の会員の会費は入学時に20,000円を徴収する。
3　大学院の会員の会費は10,000円とし、入学時に徴収する。
4　大学各学部へ編入学した会員については編入学時に10,000円を徴収する。
（年　度）
第16条　本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。
（改　廃）
第17条　この規約は、総会の議決により改正することができる。

附　則
この規約は、平成29年6月10日から改訂・施行する。
附　則
この規約は、平成30年8月4日から改訂・施行する。
附　則
この規約は、平成30年10月13日から改訂・施行する。
附　則
この規約は、2019年5月18日から改訂・施行する。
附　則
この規約は、2019年12月7日から改訂・施行する。
附　則
この規約は、2020年5月30日から改訂・施行する。

大阪電気通信大学後援会見舞金内規

（弔慰の場合）
1. 会員または会員の配偶者が死亡した場合
　弔慰金 30,000円・総1対・弔電（後援会名）
2. 学生が死亡した場合
　弔慰金 30,000円・総1対・弔電（後援会名）
3. 大学の教職員および教職員の配偶者・父母・子女が死亡した場合
　弔電（後援会名）

（災害見舞の場合）
会員の住居（学校へ届出の現住所）等が災害のために損害を受けたとき、次の通り災害見舞金を贈る。

1. 住居が全壊・全焼したとき	30,000円
2. 住居が半壊・半焼したとき	20,000円
3. 床上浸水したとき	10,000円

大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用規程

平成13年4月1日制定
最近改正　2022年4月29日

（目　的）
第1条　この規程は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の学生で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与して、学業を継続させることを目的とする。
（名　称）
第2条　前条の学資を大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金（以下「奨学金」という。）といい、奨学金の貸与を受ける者を大阪電気通信大学貸与奨学生（以下「奨学生」という。）という。
（財　源）
第3条　本奨学金は、大阪電気通信大学後援会（以下「後援会」という。）及び一般社団法人大阪電気通信大学友電会（以下「友電会」という。）から拠出された出資金並びに有志の寄付金を財源とする。
（委員会）
第4条　奨学生の選考及び奨学金に関する諸事項を審議するため、大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金委員会（以下「委員会」という。）を置く。
2　委員会は、次の者をもって組織する。
（1）学務部長、及び学務部事務部長又は学務部次長
（2）後援会より選出された者　若干名（内1名を会計監査人とする。）
（3）友電会より選出された者　若干名（内1名を会計監査人とする。）
3　委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
4　委員長は学務部長とする。
5　委員会は必要により委員長が招集する。
（奨学金の貸与を受ける者の資格）
第5条　奨学金の貸与を受けることができる者は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の在学生で、次の条件を満たしている者とする。
（1）学資支弁が困難な者
（2）人物、学業成績とも良好な者
（奨学金の額と利息）
第6条　奨学金の額は半期分の学費相当額とする。
2　貸与した奨学金には利息を付さない。ただし、返済を怠った際の取扱いについては第15条に定めるとおりとする。
（貸与期間）
第7条　奨学金を貸与する期間は、本学に在籍している期間内とする。
（返済方法）
第8条　奨学金の返済方法は、次の通りとする。
（1）返済は、貸与の終了した年度の翌年度から年賦返済とし、5年以内に全額を返済する。
（2）1年間の返済額は、原則として貸与額の2割とする。
（3）毎年の返済期限は、12月20日とする。
2　奨学金の返済を怠ったときは、返済期限の到来前に未返済金の全額を一括返還するよう請求し、強制執行の手続きを講じることができる。
（奨学金の申請）
第9条　奨学金の貸与を希望する者は、次の各号の書類を委員会に提出しなければならない。
（1）奨学生申請書
（2）成績証明書
（3）本人及び連帯保証人の経済状況を証明するもの
2　奨学生の募集は、随時受付を行う。

（審査及び決定）
第10条　委員会は前条で提出された内容を審議し、奨学生としての採否を決定する。
2　委員会は、前項の採否の結果について当該申請者に通知する。
（金銭消費貸借契約）
第11条　奨学生として採用された者は、所定の金銭消費貸借契約を締結しなければならない。
2　前項の金銭消費貸借契約は、連帯保証人2名の連署を必要とし、1名は保護者又はそれに準ずる者とし、もう1名は本人と別生計の保証能力のある者とする。

（異動の届出）
第12条　奨学生又は奨学生であった者が、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに委員会に届出なければならない。
（1）本人又は連帯保証人の氏名、住所、電話番号、その他重要な事項の変更
（2）休学又は退学
（3）卒業等、本学に在籍しなくなってから以降の進路先
（貸与の停止）
第13条　委員会は、奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を停止することができる。
（1）退学したとき、又は退学若しくは除籍の処分を受けたとき
（2）提出書類に虚偽の記載があったとき
（3）奨学生として学業成績不良、又はふさわしくない行為があったとき
（4）停学の処分を受けたとき
（5）奨学金を必要としなくなったとき

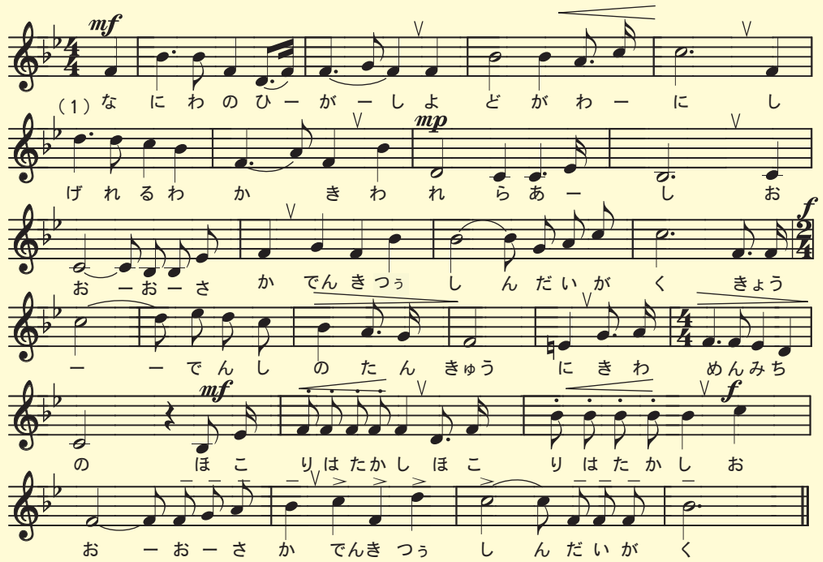
2　前項第2号により奨学金の貸与を停止されたときは、遅滞なく奨学金の全額を返還しなければならない。

（返済猶予）
第14条　委員会は、奨学生であった者が、本学の大学又は大学院に引き続き入学した場合、その他正当な事由によって奨学金の返済猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することがある。
2　前項の場合、委員会は、改めて奨学金の返済について指定し、本人はその指定に従わなければならない。
（延滞金）
第15条　奨学生であった者が、正当な理由なく奨学金の返済を怠ったときは、年5%の延滞利息を徴することができる。
（返済免除）
第16条　委員会は、次の各号のいずれかに該当することにより、奨学金の未返済額の全部又は一部について返済不能となったときは、本人又は連帯保証人の願い出によって、その全部又は一部の返済を免除することができる。
（1）奨学生又は奨学生であった者が死亡したとき
（2）奨学生又は奨学生であった者が身体の障害等を持つに至ったとき
（会計監査）
第17条　会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。
2　前項の会計年度に係る決算終了後、会計監査を経て委員会に報告する。
3　監査人は、後援会及び友電会よりそれぞれ選出された者とする。
（所管）
第18条　この規程に関する事務は、学務部において行う。
（改廃）
第19条　この規程の改廃は、委員会において審議及び決定するものとする。

附　則
1　この内規は、平成13年4月1日から施行する。
2　大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金規則は、廃止する。
附　則
この規程は、平成27年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、平成30年10月1日から施行する。
附　則
1　この規程は、2022年4月29日から施行する。
2　大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用細則（平成13年4月11日制定）は、廃止する。

大阪電気通信大学学歌

作詞　片岡幸彦
作曲　鎌田廉平



一
浪速の東淀川に
茂れる若きわれら葦
おお大阪電気通信大学
今日電子の探求に究めん道の
誇りは高し誇りは高し
おお大阪電気通信大学

二
稲穂波立つ河内野に
ゆうゆう高き鉄塔よ
おお大阪電気通信大学
われら時代の先端を荷負う未来に
責任重し責任重し
おお大阪電気通信大学

三
宇宙をひらくわれら意気
世界にひびくその名こそ
おお大阪電気通信大学
愛と真理と理想とに明日の平和の
門を開かん門を開かん
おお大阪電気通信大学

後援会たより No.51 秋

2023（令和５）年11月１日発行

編集発行：大阪電気通信大学後援会

〒572-8530 寝屋川市初町18-8（Ｐ号館１階 105室）
TEL 072-825-7600 ／ FAX 072-825-7611
http://www.dentsukouenkai.com/
E-mail : office@dentsukouenkai.com

印刷：共同プリント株式会社